

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109A	総合ゼミナール(江良友子) Seminar (Library and Librarian)	江良友子		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

図書館の授業で学んできた図書館及び図書館サービスについて実践的に理解するために、本学図書館を主要なフィールドとして『図書館だより』の発行、図書館の「館内展示」、校内掲示板の「掲示」制作を行う。また、受講者の興味に応じて読書会やビブリオバトル、図書館の見学会などを行う。(基礎知識の獲得・活用・応用)
受講生による自主的な運営と共同作業を基本とすることで、建学の精神を踏襲するとともに社会人基礎力を育成し、図書館司書の仕事に必要な課題解決能力を身につける。

学修内容	到達目標
① 館内展示の計画・作成の方法を知り、制作をする。 ② 掲示板の計画・作成の方法を知り、制作をする。 ③ 図書館だよりの計画・作成の方法を知り、制作をする。 ④ 司書資格取得科目で学んだ読み聞かせや選書の技術を使ったコミュニケーションを実施する(自主企画)。 ⑤ まとめ、反省会を実施する。	① 魅力的な館内展示を考え、制作できる。 ② 図書館と本の魅力をアピールする掲示を考え、制作できる。 ③ 図書館だよりを通じて大学図書館をアピールできる。 ④ 本学・他大学の学生や図書館職員、地域の人々と交流するための企画・立案・参加ができる。 ⑤ ふり返りを行い、更なる学びに繋げることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	現在のゼミ活動の中で何をすべきか見極め、自発的に作業に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	更に良い作品にするにはどうしたらよいかを考え、過程を大切にしながら制作に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	常に周りに声かけをし、正確な作業を把握しながら作品制作ができる。
	計画力	
	創造力	図書館利用者を意識した、図書館だより、館内展示、掲示の企画・制作ができる。
チームで働く力	発信力	本や紙芝居など資料をハブとしたコミュニケーションを本学・他大学の学生、図書館員や地域住民と取ることができる。
	傾聴力	自分と異なる意見を持つ他者の話にも耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じて参考資料等を配布する。
参考文献：必要に応じて配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する全ての科目
資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
司書として現場で仕事をするために必要なことを実践的に学習する。 受け身ではなく、積極的に発言・行動すること。 図書館だけでなく、展示・掲示制作で参考となる博物館などへ自ら足を運び、学習することが望ましい。 授業時間以外の時間、土日や休暇期間を使って作品制作・行事への参加をする場合がある。	6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 話し合いで決定した事項は、全員で協力して行うこと。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。 自主企画や図書館見学に要する費用は自己負担とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓		(発表) 30点 ・作品（館内展示・掲示・図書館だより）について解説することができる（基礎知識の習得・活用）。 ・他者の発表に対して質問や感想を述べることができる（基礎知識の応用）。 ・自分たちが培ってきた社会人基礎力を活かして発表するための資料作り・発表準備・プレゼンテーションができる（基礎知識の習得・活用）。 (制作物) 30点 ・館内展示（タイトルボード、各本の紹介、季節に合わせた飾りつけなど）、図書館入り口のカフェボード（基礎知識の習得・活用・応用） ・大学玄関口掲示（図書館への案内、本の紹介など）（基礎知識の習得・活用・応用） ・図書館だより（企画・レイアウト・校正など）（基礎知識の習得・活用・応用） (その他) 30点 ・ゼミとして参加する学校・地域の行事やイベントの準備・参加ができる（15点） ・自主企画立案・準備・実行がもれなくできる（15点）	
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) ・自主企画の企画内容・実行状況・反省の取り組み姿勢を評価する。 (実行力) ・担当となった展示・掲示・図書館だよりの取り組み姿勢を評価する。 (課題発見力) ・各作業について周りの状況を確認しながら進めることができているかを評価する。 (創造力) ・図書館利用者の実態に合った作品を考え、創作することができているかを評価する。 (発信力) ・紙芝居・読み聞かせ、プレゼンテーションなど、人前で発表する姿勢を評価する。 (傾聴力) ・自分と異なる意見にも耳を傾け、それを踏まえた提案をすることができているかを評価する。 (規律性) ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) 評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた時は、積極的に参加し、発表することができる。 割り当てられた作品が、期日までに制作でき、図書館利用推進に繋がるものに仕上がっている。 学校内外の行事・イベントに意欲をもって臨み、参加することができる。 社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。</p> <p>A (優) 評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた場合には参加し、発表することができる。 割り当てられた作品が、期日までに制作でき、よいものに仕上がっている。 学校内外の行事・イベントに臨み、参加することができる。 社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。</p>	<p>B (良) 評価 ゼミの授業時間以外に参加・発表の場が与えられた場合には参加・発表するよと努力している。 割り当てられた作品が、期日までに制作でき、良いものにするよう努力できている。 学校内外の行事・イベントに参加できている。 社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。</p> <p>C (可) 評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた場合には、参加できている。 割り当てられた作品を期日までに制作するよう努力している。 学校内外の行事・イベントに臨み、参加することが難しかった。 社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。 或いは、達成には至らないが努力できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方説明と年間計画の検討を行う	講義 話し合い	授業の趣旨を理解し、年間計画に自分の意見を反映させることができる。	(第1回予習) 自主企画の案を考えて図案化する。	45	主体性 傾聴力 規律性
2～5	館内展示 1 図書館内の展示企画と作成、参考となる図書館見学を行う (基礎知識の獲得・活用・応用)	演習(作成) 図書館見学(予定) 作成物の講評(フィードバック)	館内展示(5～8月分)の企画・作成、展示作業を行うことができる。	(各回予習) 魅力的な展示・掲示にするために必要なことを考え、発表できるようにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6～9	掲示 1 掲示板を有効に使う方法を学習し、掲示作成を行う (基礎知識の活用・応用)	演習(作成) 作成物の講評(フィードバック)	掲示(5～8月分)の企画・作成、掲示作業を行うことができる。	(各回課題) 月替わり展示・掲示制作作業 ・季節 ・色使い ・レイアウトを考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10・11	自主企画 1 (基礎知識の活用・応用)	話し合い 演習又は実習、見学	自主企画案を出すことができる。 決定した内容に沿って作業に参加できる(制作物の場合は完成させることができる)。	(予習) 第1回授業で決定した自主企画準備 ・日程 ・材料 ・道具	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12～14	図書館だより 1 図書館だよりの企画と制作を行う (基礎知識の獲得・活用・応用) ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の書き方	図書館だより 秋号 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック)	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	(予習) 図書館だより企画・作成準備 ・レイアウトの参考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	前期の反省会 後期の計画 (基礎知識の活用・応用)	話し合い	前期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 後期分自主企画の計画案を立てることができる。	(予習) これまで作成した作品を振り返り、課題を3分で発表できるようにする。 前期の反省を踏まえ、後期の自主企画案を考える。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
16～19	館内展示 2 図書館内の展示企画と作成を行う (基礎知識の活用・応用)	話し合い 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック)	第1回館内展示作成時の反省点をふまえて、(10～3月分)の展示の企画・制作・展示活動ができる。	(予習) 展示案をひと月毎1案以上考え、企画書を作成する。 (課題) 作品制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
20～23	学びの泉グランプリ準備 学びの泉グランプリ学科予選に向けて発表準備を行う (基礎知識の活用・応用)	話し合い 役割分担 プレゼンテーション	割当たった役割を理解し、各々が最大限努力できる。	(予習) 発表テーマを考えて臨む。 役割に応じて： ・発表用シナリオを作成する。 ・発表用PPを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
24～ 27	掲示 2 大学玄関左手の掲示企画と作成を行う (基礎知識の活用・応用)	話し合い 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック)	第1回掲示作成時の反省点をふまえて、(10～3月分)の掲示の企画・制作・展示活動ができる。	(予習) 掲示案をひと月毎1案以上考え、企画書を作成する。 (課題) 作品制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
28・ 29	図書館だより 2 図書館だよりの企画と制作を行う (基礎知識の活用・応用) ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の書き方	図書館だより 春号 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック)	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	(予習) 図書館だより企画・作成準備 ・レイアウトの参考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
30	後期の反省会	話し合い	後期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 来年度ゼミ生への引継ぎ事項検討。	(予習) これまで作成した作品を振り返り、課題を3分で発表できるようにする。 後期の反省を踏まえ、来年度ゼミ生へ引継ぎ事項を書き出す。	45	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109B	総合ゼミナール(大森有希乃) Seminar (Food and nutrition)	大森有希乃		基礎	2	必修	2通年

科目の概要
 人間は生きるための栄養を食事から摂る。「食べることは単に栄養を摂取することだけでなく、健康を維持したり、おいしく食べることで心の豊かさを育て、また共に食べるにより社会性を育んでいく。「食べることは生きること」であり、食をおいしさ、文化、栄養、安全性など様々な面から考え、食の大切さを理解することは、社会人としての基礎をつくることでもある。これまで獲得してきた知識を活用し、レシピコンテスト、学祭、地域貢献活動などに合わせた献立やレシピを作成し、実際に調理を行って、実践力を身につけていく。そして、常に「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を大切にしながらゼミ活動を行うことによって、pisa型学力の修得とともに健康な体と健全な精神を修得することを目指していく。また、フードスペシャリスト資格を目指す学生には、ゼミの各テーマが受験科目の復習となるよう配慮し、資格取得を目標とする。

学修内容	到達目標
① 食に関する活動(学祭、地域貢献活動など)を通じて、おいしさ、栄養、安全、ビジネスなど食を多面的に考え、食のイベントの企画運営ができる実践力を養う。 ② ライフステージにおける食の特徴と重要性を理解する。 ③ 食物アレルギーについて、基本知識を理解する。 ④ 食に関するコンテストに応募し、コンテストの趣旨にあったレシピを作成する。 ⑤ フードスペシャリスト資格試験に挑戦する。	① 食に関する活動に積極的に参加し、必要な情報を収集してイベントの計画を立て、実践できる。 ② 離乳期、成人期、高齢期の食の特徴を知り、献立や調理方法を考え、自己の食生活に活用できる。 ③ 食物アレルギーの特徴を理解し、レシピを作成し、食の問題を解決について考えることができる。 ④ レシピコンテストの趣旨にあったレシピを作成し、応募することができる。 ⑤ フードスペシャリスト資格を取得する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	指示を待つのではなく、シラバスの予習・復習を読み、やるべきことを考えて次の準備や行動を起こす。
	働きかけ力	自分では解決できないことがあった時は、そのままにせずゼミの仲間や先生に相談する。
	実行力	ゼミの活動や資格試験合格に向け、粘り強く取り組み、目標を達成する。
考え抜く力	課題発見力	ゼミ活動の目標達成のために、自分の課題を考えて行動する。
	計画力	イベント参加や資格試験合格に向け、目標と目的を明確にして計画を立て、実行する。
	創造力	一つの知識からだけではなく、いろいろな知識を組み合わせアイデアを考える。
チームで働く力	発信力	相手の目(顔)を見て話し、相手が自分の話を正しく理解しているかの反応をみて、相手に分かりやすく伝える力を身につける。
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいづちをし、大事なことはメモをとりながら聞く。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えも理解しようと努め、よりよい方向に向かって譲歩しながらゼミ活動を進める。
	状況把握力	仲間の行動を見ながら、自分のやるべき役割を考えて行動する。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスを乗り越えれば次は楽になるという前向きな気持ちを持ち、ゼミの仲間や先生に相談したりして取り組むようにする。

テキスト及び参考文献
 テキスト：なし。必要に応じて、資料を配布する。
 参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連
 他科目との関連：ゼミ選択時においてフードクリエイティブ、フードスペシャリスト関連科目を受講していることが望ましい。
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から自分や家族の食事に関心を持ち、健康的な食生活を送るよう努力して欲しい。 ・料理をする機会を多く持ち、知識と技術を習得し、レシピコンテストに積極的に参加する。 ・食に関する情報に関心を持って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習を行う時は、準備・後片付けの時間も必要となるため、ゼミの時間を延長することもある。 ・授業に必要な費用についてはオリエンテーションで提示する。 ・調理実習時は、身だしなみ(白衣、三角巾着用、爪を切る、アクセサリー、ネイルはつけないなど)に注意する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ゼミで取り組んだテーマについてまとめ、レポートにして提出する。（取り組んだ内容、結果、感想（社会人基礎力を含む）についてまとめる。） レポートの提出期日は厳守する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①		<ul style="list-style-type: none"> レシピコンテストに参加し、レシピを作成する。 成人女性のバランスのよい献立を考え、レシピを作成する。 ゼミ活動で作成したレシピをまとめてレシピ集を作る。 ゼミ活動をまとめ、その成果を発表する。（これまでに獲得した知識を活用し、食に関する問題点を見出す。問題点を解決し、生涯における食事がより良いものに改善できるレシピを提案する。） 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性）予習・復習をし、ゼミ活動が円滑に行えるように準備することができる。 （働きかけ力）わからないことがあった時、周囲に質問や相談ができる。 （実行力）自分が立てた目標に対して粘り強く取り組んでいる。 （課題発見力）ゼミ活動がスムーズに行えるよう絶えず課題を考えて行動している。（計画力）目標に向けて計画を立て実行する。 （創造力）ゼミ活動のいろいろなテーマに対して1つ以上のアイデアを出すことができる。 （発信力）相手がわかるように話することができる。 （傾聴力）話を聞く時はメモをとりながら聞くことができる。 （柔軟性）人の意見を最後まで聞き、理解しようと努力できる。 （状況把握力）仲間の行動を見ながら自分の立場や役割を考えて行動できる。 （規律性）遅刻、無断欠席をなど学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローアップ課題を行う。 （ストレスコントロール力）ストレスを抱え込まず、周りの人に相談できる。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる。②ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を積極的に発表し、意見をまとめることができる。③レシピ集の制作に積極的に参加し、表紙やあとがきなどを分担し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる。④フードスペシャリスト試験に合格したり、レシピコンテストに参加して入賞するなど、積極的にゼミ活動を行う。</p> <p>S(秀) = ①+②+③または④、A(優) = ①+②</p>	<p>①時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる。②ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を発表することができる。③レシピ集の制作に参加し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる。</p> <p>B(良) = ①+②+③、C(可) = ①+②</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について	講義 グループ討議 グループ討議後、口頭にてフィードバックする。	ゼミの方針を理解できる。 今年度のゼミとしての活動目標・内容を検討し、役割分担をする。	(復習) 自分のやりたいことをまとめてレポートにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2	郷土料理の継承 ・愛知県の郷土料理についての特徴を学ぶ ・グループに分かれ、テーマを決めて調査や情報収集をする ・愛知県の食品・食材はどのようなものか学ぶ	講義 グループ討議 グループ討議後、口頭にてフィードバックする。	愛知県の食材、郷土料理について図書館で調べることができる。 愛知県の郷土料理のレシピを提案できる。	(復習) 愛知県の郷土料理のレシピを作成する。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
3、4	郷土料理の継承 ・調べた愛知県の郷土料理のレシピを作成し、調理し、郷土料理について学ぶ	実習(グループ) グループで作業の分担、手順を決めて実習が迅速、丁寧に行えるようにする。 実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する。(グループで1人)発表後、口頭でフィードバックする。	愛知県の郷土料理のレシピを作成し、グループで調理することができる。	(復習) 実習献立についてまとめる。 (予習) 実習の準備を整える	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
5	食品成分表の見方と取り扱い方を学ぶ 料理のエネルギー、塩分の算出について学ぶ 健康的な食事はどのようなものか学ぶ	講義 演習 レシピの栄養価計算を点検し、フィードバックする。	食品成分表の使用法を理解し、献立のエネルギー、塩分量を算出することができる。 健康的な食事について理解できる。	(復習) 健康的な食事についてまとめる。 (レポート提出あり) (予習) 郷土料理を現代風にアレンジする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	郷土料理の継承 ・講義、グループワークで獲得した知識を活用し、愛知県の郷土料理を現代風にアレンジしたレシピを作成する ・健康的な食事を理解し、アレンジした郷土料理をバランスの良い一食の献立に展開する	グループワーク グループ討議 レシピコンテストでの入賞をめざして積極的に意見を言う。 口頭でフィードバックする。	愛知県の郷土料理を現代風にアレンジしたレシピを作成できる。 健康的な食事を理解し、主食、主菜、副菜のそろった献立を提案できる。	(復習) レシピを修正する。 (予習) 実習の準備を整える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 柔軟性 状況把握力 規律性
7~9	郷土料理の継承 タニタご飯コンテストの応募料理を調理する(現代風にアレンジしたレシピを調理し、郷土料理の新たな魅力を創造する)	実習(グループ) レシピ、料理を点検し、フィードバックする。	愛知県の郷土料理のアレンジレシピを作成し、グループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	(予習) 材料を準備する。 (復習) 決定したレシピを作成する。	270	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	郷土料理の継承 タニタご飯コンテストの応募書類の作成する(現代の食の問題を解決するポイントについてまとめる)	演習 グループワーク 作成した応募用紙を点検し、フィードバックする。	タニタご飯コンテストの応募用紙を作成し、コンテストに応募することができる。	(復習) 郷土料理を継承していくために出来ることをまとめる。 (レポート提出有り) (予習) 高齢者の食事、かむことの意味を調べる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性
11	生涯おいしく楽しく食べることの意味 ・歯や口が健康であるための食事について学ぶ ・高齢者の特徴を学び、口から食べることの必要性を認識する。	演習 グループワーク グループワークで作成したレシピを点検し、フィードバックする。	高齢者の特徴を理解し、高齢者がよく噛んで食べることができるレシピを作成することができる。	(復習) レシピを作成する。 (予習) 材料を準備する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
12、13	生涯おいしく楽しく食べることの意味 ・高齢者がよく噛んで食べることが出来るレシピを立案し、調理する (講義で獲得した知識を活用し、高齢者の食も問題点を見出し、よく噛んで食べることができる料理を調理し、高齢者の食も問題を解決する。)	実習(グループ) グループ討議後、口頭でフィードバックする。	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	(復習) レシピを修正する。 (予習) 食物アレルギーについて学ぶ。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
14	歯ツツピーレシピコンテストに応募する 食物アレルギーについて、アレルギーのメカニズムを学ぶ	演習 作成した応募用紙を点検し、フィードバックする 講義	歯ツツピーレシピコンテストに応募できる 食物アレルギーについて、その特徴と留意点を、食事について理解できる。	(復習) 噛むことの意味をまとめる。 (予習) 三大アレルギーを除去したレシピを考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
15	食物アレルギーの代替食について学ぶ。 三大アレルギーを除去したレシピを作成する (講義で獲得した知識を活用し、食物アレルギーの食事の問題点を見出し、食物アレルギーがあってもおいしく食べることができるレシピを作成する) 前期のまとめ 夏休みの学修計画	講義 グループ討議 作成したレシピを点検し、フィードバックする。	仲間と協力して、食物アレルギー食のレシピを完成することができる。 前期のゼミ活動の反省から課題を見出し、後期ゼミ活動への提案ができる。	(復習) レシピを作成、修正する。前期を振り返って、ゼミ活動について感想を書く。 (レポート提出有) (予習) 調理実習の準備	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
16、17	食物アレルギー食(三大アレルギー除去食)の調理	実習(グループ) グループ討議 作成したレシピを点検しフィードバックする。	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	(復習) レシピを作成し、さらにレシピを修正する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
18	食物アレルギーについて 食物アレルギーレシピコンテストに応募する 三大アレルギーを除去したレシピのポイントをまとめる	演習 グループワーク 応募用紙を点検し、フィードバックする。	食物アレルギーレシピコンテストに応募できる 食物アレルギーのレシピが作成できる。	(復習) 食物アレルギーについてまとめる。 (レポート提出あり) (予習) 模擬店運営のために必要なことを各自考えてくる必要に応じて、材料を集めてくる。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
19、20	学泉祭への出店(1) ・学泉祭に模擬店を出店する何を提供するか、マーケティングから始め、試作を重ね、商品の開発、試作、包装、販売方法、役割分担など検討する 模擬店の運営の計画を立てる まちづくりプロジェクトの準備	グループ活動 実習後フィードバックする	仲間と協力して、模擬店の商品をつくることができる 自分の役割を理解し、仲間と協力して模擬店を運営することができる。	(復習) 検討したことをまとめておく。 (予習) 乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養について調べる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
21	ライフステージ別の健康と食事について学ぶ 調べてきたことを発表する	講義 発表 発表後コメントする	乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養について調べたことを発表できる。	復習) 乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
22	高齢者の食事について咀嚼、嚥下機能低下の方の食事の特徴を学ぶ とりみ剤、ゲル化剤の取り扱いを学ぶ	講義 演習 グループ討議後、口頭でフィードバックする。	高齢者にとっての食事について理解できる。 とりみ剤、ゲル化剤を正しく使用することができる。	(復習) 嚥下障害のある方のレシピを完成させる。 (予習) 調理実習の準備、レシピを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
23、 24	高齢者の食事について 嚥下食ピラミッドを理解し、介護食を調理する	実習（グループ） グループ発表後、口頭 でフィードバックする。	嚥下食ピラミッドを理解し、介護食を作ることができる。	（復習）嚥下障害のある方のレシピを完成させる。 （予習）自分の食事を記録する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
25	身近な食について考える 成人女性の1日の食事の摂り方を考え、バランスのよい食事を学ぶ	講義 グループワーク グループ討議後、口頭 でフィードバックする。	成人女性の1日に必要な栄養素をバランスよく摂取できる献立を考えることができる。	（復習）レシピを完成させる。 （予習）調理実習の準備、レシピを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
26、 27	成人女性の献立を作成し、調理する	実習（グループ） グループ発表後、口頭 でフィードバックする。	成人女性の献立を考え、自己の食生活に活かすことができる。	（復習）自分の食生活の問題点を見出し、改善方法をまとめる。 （レポート提出あり） （予習）行事食について調べる。調理実習の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 規律性
28、 29	食文化を学び、継承する 年中行事と食文化を学び、調理する	実習（グループ） グループ討議後、口頭 でフィードバックする。	日本の年中行事と食文化について理解し、仲間と協力し、調理実習を行い、写真を撮ってレシピを完成させることができる。	（予習）調理実習の準備、レシピを作成する。 （復習）レシピを完成させる。	180	主体性 実行力 計画力 状況把握力 規律性
30	ゼミ活動のまとめ ・レシピ集の完成 ・ゼミ活動の発表	演習 発表 1年間のゼミ活動を振り返り、フィードバックする。	1年間のゼミ活動のレシピ集を完成させることができる。 ゼミ活動のまとめを発表することができる。	（復習）レシピ集作成のための準備をする。 ゼミ発表のための準備をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109C	総合ゼミナール(小山田尚弘) Synthesis Seminar	小山田尚弘		基礎	2	必修	2通年
科目の概要							
このゼミは「楽しく、作品を制作しよう！」をテーマに授業を進めます。制作した作品は、卒業作品の発表として学内の展示スペースにも展示します。また作品を西尾市美術展・岡崎市美術展・全国着物デザインコンクールなどのコンテストにも出品します。授業は2年生の前後期の30回授業で作品を制作するので、各学生はしっかりした制作のスケジュールを組んで作品を制作してほしい。また、芸術の見聞を広める目的で美術館や博物館に見学に出かける予定です。授業を通して、建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力を身に付け、個性的な芸術表現ができるように潜在能力開発に努める。							
学修内容				到達目標			
① デザイン・染色・デッサン・色彩などの技法や知識などを学びながら作品を制作する。 ② 学外の美術館や博物館に出掛け、芸術専門分野の学識を深める。 ③ 学生の潜在能力開発の目的で、学生が授業で制作した作品をコンクールに出品する。				① デザインや染色の知識・技術の修得ができる。 ② 学外の美術館や博物館に出掛け見聞を広げることができる。 ③ 授業で制作した作品をコンクールに出品し、入選や受賞により潜在能力を伸ばすことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こすことができる。					
考え抜く力	課題発見力	良い作品に仕上がるように、総合的に作品をよく検討し仕上げるができる。					
	計画力						
	創造力	自分の感性を大切に、個性豊かに創造して仕上げることができる。					
チームで働く力	発信力	作品を通して意見の主張や自分なりのこだわりを発信することができる。					
	傾聴力	作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
必要に応じてプリントを配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
色彩と表現、クリエイティブデザイン、基礎デザイン、染色デザイン。							
学修上の助言				受講生とのルール			
デッサン、色彩、イラスト画、染色など学生が制作したい分野を選び自由に制作してもらいます。授業では、作品制作をとうして潜在能力開発や社会人基礎力が修得できるように、しっかり取り組んでもらいたい。美術館の見学には必ず参加すること。				① ポスターカラーやアクリル絵の具は各自で購入し準備する。 ② 作品の提出期限を守ること。 ③ 作品制作により自分を高める努力をすること。 ④ 材料費は制作内容により異なる。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	小テスト		0	①				
				②				
				③				
	レポート		0	①				
				②				
③								
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・デザインや染色の知識・技術をもとにパネル作品を2個作品を製作。制作した作品については完成度（特に優れて高い：S、優れて高い：A、完成はしているが仕上がりは普通：B、完成はしているが仕上がりは悪い：C、完成できてない：D）を評価する。	
			②	✓				
			③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができるか取り組み姿勢により評価する。 実行力：自分で立てた目標を達成できるよう、具体的に行動を起こすことができる。 課題発見力：良い作品に仕上がるように、総合的に作品をよく検討し仕上げることができる。 創造力：自分の感性を大切に、個性豊かに創造して仕上げることができる。 発信力：話だけで伝えるのが難しい場合には、メモなどを用意して説明できる。 傾聴力：作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができる。 規律性：提出物の期限を守ることができる。遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん出し、デザイン性に優れ、染色技術の完成度も高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。</p> <p>S：上記の基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れた高い評価。</p>	<p>B：制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的なデザインや染色の知識・技術を身につけている。</p> <p>C：上記の基準に対して、作品制作の仕上がりが悪く、授業態度も努力の姿勢が感じられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1・2	<前期> オリエンテーション 授業の内容説明やスケジュール説明を行う。 作品制作	講義、演習 教員が1年間の活動内容を説明後、各学生が活動計画を立てたり作品制作を行う。	授業のスケジュールや内容の理解している。 授業で何を制作するのか明確にして計画できる。	(復習)授業内容を理解し次の授業で持参するものを準備しておく。	90	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3・4	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。たくさんアイデアを出して検討。	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザイン・染色など学生がそれぞれ計画し制作できる。	予習)デザインや染色の計画を行っておく。 (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5・6	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。たくさんアイデアを出して検討する。 作品制作	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	アイデアをたくさん出し多方面から検討して制作できる。	(予習)作品の下絵をたくさん描いておく(復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力
7・8	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。迷ったら小作品の試作を制作して検討する。 作品制作	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品制作において、問題点があれば教員に聞いて相談できる。	(予習)デザインや色彩の計画・画面の動きなどを考えてくる。 (復習)デザインを再度検討してくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
9・10	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。迷ったら小作品の試作を制作して検討する。 作品制作	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	小下図から実際の作品サイズに拡大し制作できる。	(予習)作品の制作構図や計画を考え、配色についても検討してくる。 (復習)染色作品の技法についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
11～13	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。最初の作品を制作したら2作品目を制作する。	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	コンクールへの出品の申し込み書を記入することができる。	(予習)色彩の検討や計画を行っておく(復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめることができる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
14・15	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品の搬入できるように準備することができる。	(予習)デザイン計画やバランスなどの検討しておく。 (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
16～18	作品制作 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品の批評に従って学生各自で作品の見直しや計画できる。 デザインの計画・検討し見直しを行うことができる。	(予習)作品制作の材料や助在など準備しておく。 (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
19～ 23	計画性を持って色彩やデザインを考える。今まで制作した作品の再検討。配色・画面構成・バランスなど検討する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの色彩配色の再検討できる。作品の制作スケジュールを確認して作品を制作できる。	(予習)配色やデザイン構成などの計画やアイデアを考えてくる。 (復習)作品の作・デザイン制作についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力
24・ 25	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	大学祭でゼミの作品発表や模擬店の準備や計画を行うことができる。作品の画面構成・構図の検討・配色の検討を行って作品を仕上げるができる。	(予習)作品の計画や工程の確認を行いまとめておく。 (復習)作品の制作についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力
26・ 27	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。問題点などの課題を検討し、迷ったら教員にも聞いて作品を制作する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの色彩配色の再検討できる。作品の制作スケジュールを確認して作品を制作できる。	(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
28・ 29	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。問題点などの課題を検討し、迷ったら教員にも聞いて作品を制作する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの色彩配色の再検討できる。作品の制作スケジュールを確認して作品を制作できる。	(予習)再度、配色やテクスチャーを検討しておく。 (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力
30	作品のまとめ	演習 各自が作品制作の完成。教員が作品を採点し、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの作品を完成し提出できる。	(予習)作品制作の完成を目指す。 (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109D	総合ゼミナール(村上拓也) Seminar (Digital Contents Design)	村上拓也	✓	基礎	2	必修	2通年

科目の概要

前期は様々なデザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）に関する知識・技術・デザイン手法を学ぶ。後期は各自または各グループで設定したテーマに基づいて作品制作をするか、産官学連携活動に参加するかを選択し研究を行う。最後に発表し、フィードバックを得ることでデザインの見識を深め、表現する能力を獲得し、建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力を統合的に身に付けていく。

*以下3件の産官学連携活動は有志による選択制で進める。
・プラスチック循環プロジェクト
・遊び創造labo 連携企画
・岡崎市役所生涯学習課 連携事業

(3件の産官学連携活動は7月上旬に開始し、夏季休暇も活動を行い、12月末に終了予定。有志のため各自参加希望を取る。)

学修内容	到達目標
① デザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）の種類や技法を知る。 ② メディア毎に異なるデザイン手法を理解する。 ③ 選択したプロジェクトにおいて、発案からアウトプットまで一通りのプロセスを経験する。	① デザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）の種類や技法を理解することができる。 ② メディア毎に異なるデザイン手法を理解し、説明することができる。 ③ 選択したプロジェクトにおいて、発案からアウトプットまで一通りのプロセスを実施することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。
	働きかけ力	困難があっても先生や友人などに助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。
	実行力	頭で考えるだけでなく、実際に行動に移しトライアンドエラーを実践できる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題を解くだけでなく、自ら課題を発見し解決に向けた道筋を立てて行動できる。
	計画力	行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。
	創造力	前例や事例をよく調べた上で、新しい視点で既存の枠組みを捉え直すことができる。
チームで働く力	発信力	相手に正しく伝わっているかどうかを確認しながら、適切な方法で発信できる。
	傾聴力	話している言葉の内容だけでなく、意志伝達の際の全体像を汲み取って聴くことができる。
	柔軟性	一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。
	状況把握力	全体のなかで常に現在地を把握することに努め、状況を俯瞰し適切な対応ができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	生活のなかで適度に休む時間を設け、バランスよく学習を進めることができる。

テキスト及び参考文献

使用テキスト及び参考文献は都度、classroomや授業内で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「Webデザイン」、「CG演習(フォトショップ)」、「CG演習(イラストレーター)」、「デジタル映像演習」、「Webデザイン基礎演習」、「Webデザイン応用演習」、「デジタルマーケティング」、「デジタルコンテンツ」、「デジタル映像演習」

資格との関連：ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
各自進めていく作品制作では、困ったことがあったら一人で抱え込まず、担当教員含め周りの人に相談してください。不明な点は都度確認してください。	Classroomなどのオンラインツールを使って連絡を行います。作品制作が遅れていたたり、解決できない問題などで進まないとき、判断に困ることがあるときなど相談してください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)：前期のリブランディング作品について、テーマのコンセプトが的確であり、オリジナリティに富み、かつ極めて完成度が高く表現にも工夫が見られる。後期の各プロジェクトについて、積極的な姿勢が十分にあり、成果物も突出して優れている。</p> <p>A(優)：前期のリブランディング作品について、完成度が高く表現にも工夫が見られる。後期の各プロジェクトについて、積極的であり、成果物も優れている。</p>	<p>B(良)：前期のリブランディング作品について、完成度が一定の水準に達してはいるが、改善項目が多数存在する。後期の各プロジェクトについて、取り組み姿勢が平均的であり、成果物は可もなく不可もなく、あくまで及第点である。</p> <p>C(可)：前期のリブランディング作品について、未完成または完成度が著しく低い。後期の各プロジェクトについて、取り組み姿勢が消極的であり、成果物は出ているが、改善事項が多数見られる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<前期> 各自、自己紹介をして親睦を深める。 1年を通して学びたいことを整理する。	演習と講義 教員の紹介に始まり、1人ずつ自己紹介をする。	デザイン思考やアフォーダンスなどの概念を説明することができる。	(予習)各自、ロゴをリサーチする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	企業のリブランディングをテーマに進める。 デザインの基礎知識を習得する。 (デザイン思考やアフォーダンスの概念、ツールを活用したインプット方法など)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	デザイン制作フローやデザインのプロの現場での注意点などを説明することができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	企業のリブランディングをテーマに進める。 デザインの基礎知識を習得する。 (著作権・素材集サイトの使い方)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	著作権・素材集サイトの使い方を説明することができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	企業のリブランディングをテーマに進める。 Photoshopの基礎を習得する。 (基本操作・選択範囲・切り抜き)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Photoshopでカラージェムを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	企業のリブランディングをテーマに進める。 Photoshopの基礎を習得する。 (補正・合成・マスクなど)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Photoshopで画像補正をすることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 (WEBデザイン事例紹介と制作フロー)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 (コンテンツの考え方・ラフスケッチ)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 (サイトツリー・デザインカンプ)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	企業のリブランディングをテーマに進める。Illustratorの基礎を習得する。 (基本操作・レイアウト)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Illustratorでレイアウトが出来る。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	企業のリブランディングをテーマに進める。Illustratorの基礎を習得する。 (パス操作・ベジェ曲線・トレース)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Illustratorでロゴのトレースが出来る。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	企業のリブランディングをテーマに進める。ロゴデザインを作る能力を獲得する。 (ロゴ事例紹介とロゴ制作フロー)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ロゴデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	企業のリブランディングをテーマに進める。ロゴデザインを作る能力を獲得する。 (ロゴのテクニック)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ロゴデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	企業のリブランディングをテーマに進める。ポスター・チラシデザインを作る能力を獲得する。 (ポスター・チラシ事例紹介と考え方)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ポスター・チラシデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	企業のリブランディングをプレゼンする。	演習と講義 企業のリブランディングをプレゼンし、フィードバックを聞く。	企業のリブランディングをプレゼンし、フィードバックを聞いて改善することができる。	(予習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	前期のまとめを行う。	全体の講評とフィードバックを行う。	前期のまとめを行うことができる。	(予習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。 (復習)前期のまとめを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
16	<後期> 各自・各グループでの研究の場合、テーマ決めとコンテンツのコンセプト作りを行い、半年かけて何を研究していくか、準備をする。 産学連携活動に参加するメンバーは、進め方を各班で協議する。 (順次個別面談と相談を予定)	演習と講義 各自の方向性を決め、classroomに研究テーマを発表する。	各自の方向性を決め、classroomに研究テーマを発表できる。	(予習)夏休み中に後期に行いたい研究テーマを決めておく。 (復習)決めた研究テーマに対して準備をしておく。	270	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17～ 27	各テーマに沿って研究を進める。	演習と講義 各テーマに沿って研究を進め、都度教員が進捗をチェックする。 見直す必要がある場合は見直しを行い、期限に間に合うよう自己管理して進める。	各テーマに沿って研究を進めることができる。	(予習)決めた研究テーマに対して準備をしておく。 (復習)決めた研究テーマに対して準備をしておく。	900	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
28・ 29	1月のゼミナール報告会に向けて準備する。 パワーポイント制作・発表者それぞれの役割で進める。	演習と講義 1月のゼミナール報告会に向けて、パワーポイント制作・発表者を割り振る。 それぞれの役割で進め、プレゼンの練習も授業内で行う。	1月のゼミナール報告会に向けて準備することができる。	(予習)1月のゼミナール報告会に向けて準備をしておく。 (復習)1月のゼミナール報告会に向けて準備をしておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
30	1年間の振り返りと相互評価・まとめを行う。	演習と講義 1年間の振り返りと相互評価・まとめを行い、フィードバックを得る。	1年間の振り返りと相互評価・まとめを行うことができる。	(予習)1年間の振り返りをしておく。 (復習)1年間の振り返りをしておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109E	総合ゼミナール(木村典子) Seminar (Health and Old welfare)	木村典子		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

テーマ「健康について考えてみよう」
健康は人生を生き抜いていくために必要不可欠なものです。今日、多くの健康法が論じられています。身体・精神・社会面からホリスティックに人間を捉え、健康について考えてみたいと思います。また、多世代との交流の場を設けます。企画、運営、振り返りを通して、計画力を養ってもらいたいと思っています。健康に関することをテーマにして、アンケートや聞き取りを通して、健康について考えていきたいと思っています。多くの課題を社会人基礎力の要素を意識し、一つ一つを丁寧に実践、振り返りを通して、また、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を大切に、ゼミ生、多くの人たちとの交流を通して、特にチームで働く力の修得を目指していきます。また、健康に関する検定にゼミ生、全員でとりくみ、自分の健康、家族をはじめとした周囲の人たちの健康についてもアドバイスできる能力を養うことを目指します。

学修内容	到達目標
① 健康評価の質問紙などを活用して、自らの健康状態をアセスメントすることを学ぶ ② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけることを学ぶ。 ③ 医療・福祉の現場に出かけ、体験的に現場の現状を学ぶ。 ④ 健康調査、SDGs活動などの活動を振り返り、チームで働く力を身につけ、さまざまな年代の方と接して、健康とライフサイクルを考える。 ⑤ ゼミ活動をまとめ、ゼミ内、学内外、の場で発表し、発信力を養う。 ⑥ 健康管理能力検定2級など、2つ以上の検定に向けて、挑戦をする。	① 健康評価指標をもとに、自らの健康状態を把握し、よりよい状態を保つための健康管理について説明できる。 ② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけ、説明できる。 ③ 医療・福祉現場の機能と役割について述べるができる。 ④ 健康調査、SDGs活動などの活動を企画、運営、振り返りを通して、チームで働く力を身につけ、十分に発揮することができる。 ⑤ 資料を作成して、ゼミ活動を他者にわかりやすく伝えることができる。 ⑥ 健康管理能力検定などの検定2つ以上合格する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解をするために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。
	働きかけ力	迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。
	実行力	目標(ゼミ活動、検定合格)を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。思いつきで行動しない。根拠あるデータをさぐることができる。
	計画力	目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。
	創造力	自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見が述べるができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。
	状況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて行動できる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。随時、授業で紹介していく。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。事前に課題を出します。次回のグループワークにつながりますので行ってください。	講義と文献学習、実践、発表といった形式で進めていきます。学生参画型の授業を進めていこうと考えています。授業では文献検索など、主体的に学習をして、健康について理解を深めていってもらいます。多くの資料を読んでわかったことを自分の言葉で表現できることを求めています。また、授業態度は課題に対して社会人基礎力を培おうとしているか評価します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験	0	①	⑥				
			②					
			③					
			④					
			⑤					
	小テスト	0	①	⑥				
			②					
			③					
			④					
			⑤					
	レポート	40	①	✓		⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法が述べられている。 ライフサイクルと健康(こども、成人、高齢者)についてまとめている。 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係をまとめ、自己の健康に結びつけている。 見学を通して、施設の役割を述べている。 活動を通して、接した人達とのコミュニケーションを通して学んだことを文献を踏まえて述べている。 ゼミ活動を通して、自己の変化を振り返り、次の目標をもっている。
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	50	①	✓	⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> pisa型学力 授業で学んだこととをもちに、SDGs活動、まちづくり活動などの活動を企画、提案をできる。提案した企画を実施し、振り返りをする。これらの過程をわかりやすくパワーポイントにまとめ、説明できる。 授業の冒頭で、ゼミ活動の進捗状況を確認するために発表を行う。 2分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。 ゼミ活動について発する機会を学内外で設けるその場で、他者にわかりやすく伝えるための資料を作成し、工夫をして伝えることができる。 「私の家族の健康マニュアル」が作成できる。 文献を活用して、エビデンスの高いデータをもとに、わかりやすく図や表を入れて作成できる。 ゼミの学外での活動、自己学習ノート、検定へとりくみについて評価する。 		
		②	✓					
		③	✓					
		④	✓					
		⑤	✓					
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 自ら、必要な知識についてさらに深めた理解するために、文献を使って、自己学習ノートを作成できている。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。 (働きかけ力) 迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。 (実行力) 目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。 (課題発見力) 資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、運動させて考えることができる。 (計画力) 目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。 (創造力) 課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。 (発信力) グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 (傾聴力) グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。 (柔軟性) 自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。 (状況把握力) メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて、行動できる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 (ストレスコントロール力) メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。 	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>秀</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者にもアドバイスできる。 ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れながら行え、タイムマネージメントができる。 レポート、作品が期日までにでき、わかりやすく他者に説明することができる。 ゼミの時間割外での活動に積極的に参加することができる。 社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。 <p>優</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者へのアドバイスできる。 ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、目標をもつことができる。 ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れることができる。 レポート、作品が期日までにでき、わかりやすく他者に説明することができる。 ゼミの時間割外での活動に参加することができる。 社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。 	<p>良</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようとする努力がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。 レポート、作品が期日までにでき、他者に説明することができる。 社会人基礎力に関する行動事例が達成しようとする努力ができる。 <p>可</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようとする努力が行動がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について ・私の思い出のお菓子と回想法	講義と演習	ゼミの方針を理解する役割分担に積極的に協力する。	復習) 自分のやりたいことをまとめてレポートにする(予習) まちづくりプロジェクトの発表の準備をする。私の思い出のお菓子の歴史と自分の成長をリンクさせて考えてみる。	60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2・3	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる。	(復習) まち歩き、調査の結果をまとめる。(予習) PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4・5	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる。	(復習) まち歩き、調査の結果をまとめる。(予習) PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6・7	私の成長と私の思い出のお菓子	プレゼンテーション 講義(回想法とは) 演習	回想法の効用と行い方について理解する。	(復習) 回想法についてまとめる。(予習) 認知症カフェ、サロン活動のレクリエーションとして活用できる回想法のツールを作成する	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
8	自分でできる健康度チェック 客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価する。 血圧、脈拍、アミラーゼ、皮膚の弾力性	プレゼンテーション 演習	客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価していき、自分の健康について考えることができる。	(復習) 自己の健康管理のレポート作成をする。(予習) ストレスと自律神経についてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
9	心の健康と自己コントロール。文献を読んで、心の健康について考えていきます。	プレゼンテーション演習	文献を読んで、自分の意見を発表できる。	復習) 発表のための資料作成。 心の健康 手記を読んで考えたこと(予習) まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。 地域と防災について調べる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10・11	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト 企画を考えていきます SDGs活動、よりよいサロンの提案をKJ法を用いて、みんなで検討していきます。地域住民からとったデータ、実際の活動から考える	演習 プレゼンテーション 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	よりよいサロンについて、自分の言葉で説明できる。	(復習) 発表のための資料作成心の健康 手記を読んで考えたこと(予習) まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。 地域と防災について調べる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12・13	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施する。触れるケア背部マッサージハンドマッサージ	プレゼンテーション 実験エッセンシャルオイルによってのアミラーゼの変化	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施の企画、運営、振り返りができる。	(予習) 皮膚感覚の解剖生理について調べてくるアロマセラピーの効用(復習) 企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
14・15	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康 SDGS活動をするために、企画書を計画し、予行練習する。 生デまちづくりプロジェクト 今までのSDGS活動、サロン活動、認知症カフェ活動、まち歩き、調査したデータをもとに、よりよいサロンの提案ができる。	演習 プレゼンテーション	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康の関係について説明できる。 企画、運営、振り返りができる。 A3一枚に、わかりやすく、矢作北地域の特徴をまとめることができる。	(予習)生活と健康について、ゼミで分担して調べる(復習)認知症カフェ、こどもまつり企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
16・17	学校祭に参加について検討 生デまちづくりプロジェクト	演習 発表	企画、運営、振り返りができる。	(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
18・19	SDGS活動、まちづくりプロジェクト 認知症カフェに参加のための企画と準備	演習 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	企画、運営、振り返りができる。	(予習)学祭に向けて、より良い品が提供できるように近隣のスーパーの市場調査ができる。(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
20・21	ゼミ発表に向けて、チームで、役割分担を決め、進める	演習 プレゼンテーション	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)案を各自、考えてくる。(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
22～24	健康に関する調査を実施し、統計処理をし、まとめる。 KJ法にて質問紙を作成していく。 作った質問紙のプレ調査を実施 修正 調査の実施 統計処理 各分担で表、図の作成 発表資料の作成	演習 プレゼンテーション	各自の分担されたデータ処理し、まとめることができる。	(予習)健康に関する資料(意中誌)を収集し、書いてあることをまとめる。(復習)分担されたデータ処理し、まとめ、進捗状況を毎回、発表し、チームで話し合いができる資料を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
25・26	ウォーキングの効用を調べ、矢作北地域の特徴を活かしたウォーキングマップの作成とウォーキングの実施	演習 プレゼンテーション	チームで分担し、ウォーキングマップが作成できる。 我が家の健康マニュアルの作成できる。	予習)ウォーキングの効用、矢作北地域の特徴を調べる。(復習)チームで分担された資料を作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
27・28	我が家の健康マニュアルの作成 家族の健康状態を客観的データをもとに分析する。	プレゼンテーション 演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)我が家の健康問題を考えてくる。 (復習)我が家の健康マニュアルの作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
29・30	健康を保つためにゼミ活動の発表 学生フォーラムなど学外で、ゼミ活動の成果を発表	演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)一年のゼミ活動を発表するための資料を収集する(復習)一年のゼミ活動を振り返り、自己学習ノートを整理、作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109F	総合ゼミナール(山田麻由) Seminar (Computer Skills and Communication Skill)	山田 麻由	✓	基礎	2	必修	2通年

科目の概要
 昨今はスマホやタブレット端末の普及と進化によって、動画撮影・編集がとて身近なものとなった。プロフェッショナルな機材やアプリケーションを持たなくても、人を惹きつける作品を制作する動画クリエイターの活躍がめざましい。そのような作品たちにSNSなどで日常的に接している私たちは、鑑賞者としての審美眼がより高まっていると言える。実写・アニメーション問わず、映像はあらゆる分野・業種において活用されており、今後も更なる発展が見込まれている。映像の基礎知識から始まり、映像制作のワークフローやAdobe Premiere Pro・After Effectsの基本操作を学ぶ。その知識を活かし、本学の広報動画や他ゼミとのコラボレーション動画などを制作する。また、SNS運用を通じてニーズや問題点を洗い出し、動画制作を通じて課題を解決するためにできることは何かを教職員と学生が共に考え実践する。

学修内容	到達目標
① 映像制作（実写、アニメーション問わず）の全般的な知識を習得する。 ② Adobe Premiere Pro、Adobe After Effects、その他制作ツールの基本操作を習得する。 ③ 映像作品を企画し、絵コンテ・台本を作成する。 ④ 既存作品を鑑賞し、自分なりに分析・考察をする。	① 映像制作（実写、アニメーション問わず）の全般的な知識を説明することができる。 ② Adobe Premiere Pro、Adobe After Effects、その他制作ツールを使いこなすことができる。 ③ 映像作品を企画し、絵コンテ・台本を作成することができる。 ④ 既存作品を鑑賞し、自分なりに分析・考察することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。
	働きかけ力	困難があっても先生や友人などに助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。
	実行力	頭で考えるだけでなく、実際に行動に移しトライアンドエラーを実践できる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題を解くだけでなく、自ら課題を発見し解決に向けた道筋を立てて行動できる。
	計画力	行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。
	創造力	前例や事例をよく調べた上で、新しい視点で既存の枠組みを捉え直すことができる。
チームで働く力	発信力	相手に正しく伝わっているかどうかを確認しながら、適切な方法で発信できる。
	傾聴力	話している言葉の内容だけでなく、意志伝達の際の全体像を汲み取って聴くことができる。
	柔軟性	一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。
	状況把握力	全体のなかで常に現在地を把握することに努め、状況を俯瞰し適切な対応ができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	生活のなかに適度に休む時間を設け、バランスよく学習を進めることができる。

テキスト及び参考文献
 テキスト：内容に応じてPDF資料をGoogle Classroomにアップロード
 参考文献：AfterEffects for アニメーション BEGINNER [CC対応 改訂版 (ビー・エヌ・エヌ新社)]

他科目との関連、資格との関連
 他科目との関連：「デジタル映像演習」、「CG演習(フォトショップ)」、「CG演習(イラストレーター)」
 資格との関連：ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
毎授業後、Google ClassroomにPDF資料をアップするので、教科書と併せて活用してください。授業内で既存作品を紹介するので積極的に鑑賞してください。	円滑に授業を進めるために、授業開始5分前には着席し、Google Classroomへのログインなどを済ませておいてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)：①+②+③ A(優)：①+②</p> <p>①提出作品の完成度が極めて高く表現にも工夫が見られる。 ②提出作品のコンセプトやデザインテーマなどが秀逸である。 ③既存作品に多く触れ、分析したことを制作に反映している。</p>	<p>B(良)：①+②+③ C(可)：①+②</p> <p>①作品を提出できている。 ②授業内で指定した映像作品を鑑賞している。 ③作品が及第点の完成度で達成している。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<ul style="list-style-type: none"> アンケート「好きな映像作品は？」など アンケートに基づいた自己紹介 Google Workspaceを活用したメンバープロフィール作成 大まかな全体スケジュールと前期の詳細スケジュールについて 	<p>講義・演習</p> <p>座学の後、自分でピックアップした映像作品を見せながら自己紹介する。</p> <p>Google Workspaceを活用してメンバープロフィールサイトを作成。</p>	自分の映像観を動画や写真を交えて紹介することができる。	<p>(予習)自分の好きな映像作品(ジャンル問わず)を再鑑賞する。(60分)</p> <p>(復習)授業内容をまとめておく。ゼミメンバーのプロフィールを閲覧する。(30分)</p>	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	<p><映像の基礎知識></p> <ul style="list-style-type: none"> 映像が動くのはなぜ? フレームレートとは 既存の映像作品をAdobe Premiere Pro上で分解してみよう 動画の解像度とアスペクト比 絵コンテってなに? 絵コンテの書き方 	<p>講義・演習</p> <p>座学の後、Adobe Premiere Proで既存の映像作品をカットごとに切り出して分析。絵コンテに起こす。</p>	映像の基本的な用語について説明することができる。絵コンテの形式について理解することができる。	<p>(予習)授業内で指定した映像作品を鑑賞しGoogleスプレッドシートに各自感想をまとめる。他学生が記入した感想に目を通しておく。(60分)</p> <p>(復習)既存作品を絵コンテに起こし、制作者の施す映像的工夫やその他気が付いたことを用紙にまとめる。(60分)</p>	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	<p><キーフレームアニメーションの基礎知識></p> <ul style="list-style-type: none"> キーフレームとは Adobe After EffectsとPremiere Proの違いを比較 イラストを動かして簡単なループアニメーションをつくらう 	<p>講義・演習</p> <p>座学の後、Adobe After Effectsを使ってイラストやデザインを動かす。</p>	アニメーション制作の基本的な流れを説明することができる。簡単なモーショングラフィックスを作ることができる。	<p>(予習)アニメーションの中割り作業について調べる。授業内で提示された手描きアニメーションとモーショングラフィックス作品を見比べて違いをGoogleスプレッドシートに書き出す。他学生が記入したものにも目を通しておく。(60分)</p> <p>(復習)授業内で動かせなかったオブジェクトにアニメーションをつけ、動画に書き出す。(60分)</p>	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	<p><『生デ ゼミ紹介動画』制作プロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度制作版の改善点をディスカッション チーム分け 役割分担 	<p>講義・演習</p> <p>座学の後、既存動画の改善すべき点や新たなアイデアを出し合う演習。</p> <p>その後、担当したいゼミの希望を取りチームに分かれる。</p>	『生デ ゼミ紹介動画制作』プロジェクトについて説明することができる。	<p>(予習)前年度制作版の動画を観て、改善すべきポイントや新たに追加したいポイントを挙げてGoogleスプレッドシートに記入する。他学生が記入したものにも目を通しておく。(60分)</p> <p>(復習)プレストで挙げたアイデアをGoogleスプレッドシートにまとめ、いつでも閲覧可能な状態にする。(60分)</p>	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5~6	<p><カメラの基礎知識></p> <ul style="list-style-type: none"> ミラーレスカメラで撮影してみよう オート設定とマニュアル設定を理解しよう 学内施設を撮影してみよう 	<p>講義・演習</p> <p>座学の後、チームに分かれて学内をカメラで撮影する。</p>	ミラーレスカメラ(オート設定)で撮影することができる。	<p>(予習)自身のスマホを用いて、学内施設の映え動画撮影スポットを探し、テスト撮影する。よさそうな場所をメモしておく。(60分)</p> <p>(復習)授業内容を受けて、再度自身のスマホで撮影してみる。(60分)</p>	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	<p><『生デ ゼミ紹介動画』制作プロジェクト制作開始></p> <ul style="list-style-type: none"> 他ゼミの活動内容をリサーチ(取材)する 各チームごとにゼミの特色を活かした演出アイデアを考える 撮影から編集までの役割分担をチームごとに決定する 	<p>演習</p> <p>実際に他ゼミの授業に訪れ、どのような活動をしているかリサーチする。</p> <p>その後、どのような方向性で動画にするかチームで話し合う。</p>	チームで協同してリサーチ活動やディスカッションができる。台本を作成し、自分たちの作る動画の流れを全員で把握する。撮影当日の流れを決めることができる。	<p>(予習)既存の動画作品を5本以上鑑賞し、動画URLと取り入れたいアイデアをGoogleスプレッドシートに記入する。他学生が記入したものにも目を通しておく。(60分)</p> <p>(復習)引き続き、既存の動画作品を鑑賞し、動画URLと取り入れたいアイデアをGoogleスプレッドシートに記入する。(60分)</p>	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8~9	<p><各ゼミを撮影する></p> <ul style="list-style-type: none"> 他ゼミの授業の様子を撮影する 各グループごとに撮影した素材をSSDに保存する 撮影してみたの振り返り~できたこととできなかったこと 	<p>演習</p> <p>2週かけて各チーム担当のゼミを撮影する。撮影後は撮影素材を確認しながら振り返りを行う。</p>	チームにおける自身の役割を把握し、協同して撮影を進めることができる。	<p>(予習)撮影進行表と絵コンテ・台本を確認する。撮影機材の操作方法を確認しておく。(60分)</p> <p>(復習)自分が撮影した動画を観て使いどころを探る。他の学生が撮影した動画素材も確認して良いところを見つけ取り入れる。(60分)</p>	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10~13	<p>『生デ ゼミ紹介動画』編集~書き出し~上映</p> <ul style="list-style-type: none"> 実写映像編集チームとアニメーション制作チームに分かれて作業する 足りない部分をピックアップする 追加撮影の予定を組む 	<p>演習</p> <p>実写チーム、アニメーションチームに分かれて編集を進める。</p>	Adobe Premiere Pro、Adobe After Effectsの基本的な使い方を理解し、編集を進めることができる。	<p>(予習)Adobe Premiere Pro、Adobe After Effectsにおける撮影素材の読み込み、シーケンスの作成方法、タイムラインの操作など基本操作を確認しておく。(60分)</p> <p>(復習)やろうとしている映像演出にどのようなテクニックが必要か調べておく。(60分)</p>	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
14～15	<p><前期の振り返りと後期に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画上映、教員からの講評 ・視聴者アンケート集計結果の発表とディスカッション ・各セッションごとに成果発表 ・全体でブラッシュアップのためのディスカッション ・前期に行った制作に関する所感を個人でまとめる ・後期からどのプロジェクトに参加したいかアンケートを行う 	<p>講義・演習</p> <p>前期を振り返り、後期に参加したいプロジェクトや企画の方向性を考える。</p>	<p>映像制作において、自身のやりたいことと役割を把握する。</p>	<p>(予習)各セッションごとに前期での制作プロセスをGoogleスプレッドシートにまとめる。他セッションのシートにも目を通しておく。(60分)</p> <p>(復習)授業内容をまとめておく。(30分)</p>	90	<p>主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力</p>
16～29	<p>後期プロジェクト(選択制)</p> <p>A:長谷川ゼミ・杉浦ゼミ卒業制作ファッションショー密着動画制作</p> <p>B:個人自由制作</p>	<p>演習</p> <p>各チームごとに分かれて企画・撮影・編集を行う</p>	<p>それぞれのプロジェクトにとって効果的な演出方法や動画を活用した問題解決案を考えることができる。作品を完成させることができる。</p>	<p>(予習)映像制作のワークフローを理解し、チームにおける自身の役割と立ち位置を把握しておく。企画書や絵コンテなど、制作の大前提となるものはGoogleスプレッドシート等で共有し、常に参照できるように準備しておく。(各週60分)</p> <p>(復習)制作していく中で新たに身につける必要のある知識やスキルを洗い出し、調べる。調べて分からないことは随時担当教員に相談する。(各週60分)</p>	90	<p>主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力</p>
30	<p>後期プロジェクト振り返り</p> <p>1年間のまとめ</p>	<p>講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29週目に後期活動の振り返り ・各チームごとに活動概要をまとめて成果発表、動画上映、講評 ・30週目にゼミSNSに作品をアップロード ・1年間の制作を振り返って個人の所感を言語化する 	<p>1年間の学びを振り返り、言語化することができる。</p>	<p>(予習)各チームの後期における活動概要をまとめ、Googleスプレッドシートにまとめる。他チームのシートにも目を通しておく。(60分)</p> <p>(復習)授業内容をまとめておく。(30分)</p>		

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109G	総合ゼミナール(河合龍二)	河合龍二		基礎	2	必修	2通年
科目の概要							
このゼミは、「自己表現力を磨こう」をテーマとする。文字表現・文章表現・音声表現から造形表現・身体表現まで、さまざま分野に挑戦する。その過程で適性や潜在能力に気づき、自らの可能性を広げることをねらいとする。成果物を残し、集約して発表する機会をつくる。この活動を通して「建学の精神」「社会人基礎力」「pisa型学力」を学修する。							
学修内容				到達目標			
① 文字や言葉選びの工夫と効果について理解を深め、実践する。 ② 多様な文章表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ③ 多様な音声表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ④ 多様な造形表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ⑤ 多様な身体表現のしかたについて理解を深め、実践する。				① 文字や言葉選びの工夫と効果について理解を深め、実践することができる。 ② 多様な文章表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。 ③ 多様な音声表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。 ④ 多様な造形表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。 ⑤ 多様な身体表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業での対話や実践などに、自ら積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力	自ら得意とする分野に関する知識やスキルを、他に伝授できる。					
	実行力	目標を定め、課題への取り組みを確実に進めていくことができる。					
考え抜く力	課題発見力	さまざまなことにチャレンジする中で、適性や潜在能力に気づき、自らの課題を発見し才能を伸長することができる。					
	計画力	各自またゼミ全体の作品制作について、タイムスケジュールを立てて準備できる。					
	創造力	自分の考えるテーマについて、独自の表現ができる。					
チームで働く力	発信力	ゼミ全体で考えたテーマについて、各自の表現スキルを組み合わせ、創造作品あるいは創作劇等の成果発表に貢献できる。その過程で、表現のポイントを踏まえ意図が伝わるように工夫できる。					
	傾聴力	ゼミ活動の重点、他の学生の発表や創作の要点、グループ内の発言を的確につかみ、対応することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：毎回配付するプリントをテキストとする。 参考文献：講義中に随時紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
学生の主体的活動によって成り立つ講座である。やったことがない表現、不得意な表現に挑戦し、自身の幅を広げよう。一方、得意な表現があれば友人に伝達し、互いにスキルアップをしよう。				恥をかくことが許される学生時代に、自身の才能に気付こう。そのためには、健康とチャレンジ精神とが大切である。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		60	①		✓	毎回の振り返りシートを蓄積し、自らの学修を調整することができる。 单元ごとの作品づくりや実技・実演について、積極的に取り組むことができる。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓	ゼミの総合作品を創作するにあたり、役割を果たし、pisa型学力を発揮できる。 他との対話を通して、自らの強みと弱みに気づき、課題を解決しようとする意欲や態度を示すことができる。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）作品づくりや実技に、積極的に取り組むことができる。 （働きかけ力）得意分野の知識やスキルを他へ伝授できる。 （実行力）目標への取組を確実に進めていくことができる。 （課題発見力）調査結果から課題を発見し、解決策を考察する。 （計画力）作業量や作業時間から計画を立てることができる。 （創造力）独自の作品を創作できる。 （発信力）受け取る相手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 （傾聴力）他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sは、自ら進んで計画的に物事を進め、積極的に実践し、その成果も優れている。演習・グループ学習において、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。リーダーシップがあり、発表や作品づくりにおいて指導的役割を果たすことができる。</p> <p>Aは、Sまではいかないが、上記内容を概ね充足している。</p>	<p>Bは、自ら進んで物事を進め、実践の意欲は感じられ、その成果もまずまずである。演習・グループ学習ともよく加わり、進行に貢献する役割を果たすことができる。リーダーを補佐する役割を果たすことができる。</p> <p>Cは、上記内容を概ね充足しているが、積極性に欠ける。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナールの概要と年間計画を学ぶ。 文字・言葉選びの工夫と効果① 語彙力の大切さ	講義・演習 ・シラバスと社会人基礎力を育む学泉ノートにより、ゼミナールの概要と年間計画を学修する。 ・語彙を増やす方法について考える。	・ゼミナールの概要と年間計画を理解できる。 ・ドリル学習ではない方法で語彙力を身に付けるアイデアを提案できる。	(復習)ゼミナールの年間計画に各自の目標を位置付ける。振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	課題発見力 傾聴力 規律性
2	文字・言葉選びの工夫と効果② 人柄が表れると言われる字の書き方と、相手に伝えるメッセージを考える。	演習・グループワーク 硬筆や毛筆、その他の書具を使った表現の可能性を探る。何で何を書くかを考える。「美文字」についても触れる。	「何で何を書くか」について、アイデアを提案できる。	(予習)事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 発信力 規律性
3	文字・言葉選びの工夫と効果③ 印象に残る「今日の一文(金言)」「今日の言葉」の企画、製作。	演習・発表 一週間カレンダー(7字・7語)あるいは月別カレンダー(12字・12語)を製作する。	創作の進捗状況を発表できる。	(予習)事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習)振り返りシートを基に、発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
4	文字・言葉選びの工夫と効果④ 印象に残る「今日の一文(金言)」「折々の言葉」発表	成果発表(1~3週「文字・言葉選びの工夫と効果」のまとめ)一週間カレンダー(7字・7語)あるいは月別カレンダー(12字・12語)を発表する。	一週間カレンダー(7字・7語)あるいは月別カレンダー(12字・12語)をPPで発表できる。あるいは実物を紹介できる。	(予習)発表の準備をしておく。 (復習)発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
5	文章表現① 俳句の創作。季語について理解する。	講義・演習・グループワーク・句会ライブ 作品の批評会を行い、相互評価をする。	俳句を三句創作できる。	(予習)事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
6	文章表現② 和歌(短歌)の創作。修辞技法について理解する。	講義・演習・グループワーク・歌会ライブ 作品の批評会を行い、相互評価をする。	短歌を三句創作できる。	(予習)事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
7	文章表現③ 漢詩の創作。押韻と対句について理解する。	講義・演習・グループワーク・鑑賞会 作品の批評会を行い、相互評価をする。	漢詩を一つ創作できる。	(予習)事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	文章表現④ 創作物語、絵本のシナリオを創作する。あるいは作詩・作詞を始める。	講義・演習・グループワーク 次回の発表に向けて、他の意見を取り入れつつオリジナル作品を創作する。	物語やシナリオのあらすじを構想できる。あるいはオリジナルの詩、歌にのせる詞を構想できる。	(予習)事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文章表現⑤ 創作物語、絵本のシナリオを創作する。あるいは作詩・作詞を完成する。	成果発表（5～9週「文章表現」のまとめ） 作品の批評会を行い、相互評価をする。	物語やシナリオのあらすじを発表できる。 あるいはオリジナルの詩、歌にのせる詞を発表できる。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 発信力 規律性
10	音声表現① アナウンス、朗読、読み聞かせ、ナレーションについて理解する。	演習・グループワーク 発音、発声、滑舌、無声化、卓立、アクセント、イントネーション等のスキルを理解し、身に付ける努力を始める。	声帯を使った音声表現スキルを理解できる。	（予習）事前配付のプリントを熟読しておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
11	音声表現② スピーチ 群読について理解する。	演習・グループワーク 聴衆を意識した表現、集団での表現について理解し、身に付ける努力を始める。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）事前配付のプリントを熟読しておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 規律性
12	音声表現③ 歌唱、演奏、作曲、ヒューマンビートボックスについて理解する。	演習・グループワーク 音声表現の多様性について理解する。 得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）事前配付のプリントを熟読しておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13	音声表現④ 効果音、音響について理解する。	演習・グループワーク 音声表現の多様性について理解する。 得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）事前配付のプリントを熟読しておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	音声表現⑤ 音声表現に関する成果発表・鑑賞会	成果発表（10～13週「音声表現」のまとめ） 作品の批評会を行い、相互評価をする。	成果を個人で、あるいはグループで発表できる。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
15	造形表現① 工作、はりぼて、写真、大道具等のアイデア・企画を提案する。	演習・グループワーク 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を企画する。	作品の企画を提案できる。	（予習）事前配付のプリントを熟読しておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 規律性
16	造形表現② 工作、はりぼて、写真、大道具等を創作し、発表する。	成果発表・鑑賞会 作品の批評会を行い、相互評価をする。	成果を個人で、あるいはグループで発表できる。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	造形表現③ 絵画、イラスト、手芸、折り紙、ペーパサート、衣装、小道具等のアイデア・企画を提案する。	演習・グループワーク 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を企画する。	作品の企画を提案できる。	(予習) 事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。発表の準備をする。	90	主体性 働きかけ力 計画力 状況把握力 規律性
18	造形表現④ 絵画、イラスト、手芸、折り紙、ペーパサート、衣装、小道具等を創作し発表する。	成果発表・鑑賞会 作品の批評会を行い、相互評価をする。	成果を個人で、あるいはグループで発表できる。	(予習) 発表の準備をしておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	90	主体性 発信力 規律性
19	造形表現⑤ 華道、茶道、書道、写真、デジタル動画等のアイデア・企画を提案する。	演習・グループワーク 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を企画する。	作品の企画を提案できる。	(予習) 事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。発表の準備をする。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
20	造形表現⑥ 華道、茶道、書道、写真、デジタル動画等を創作し発表する。	成果発表・鑑賞会 作品の批評会を行い、相互評価をする。	成果を個人で、あるいはグループで発表できる。	(予習) 発表の準備をしておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	90	主体性 発信力 規律性
21	身体表現① ゼスチャー、パントマイム、演技等について理解し、実践してみる。	演習・グループワーク 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	(予習) 事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性
22	身体表現② 振り付け、創作ダンス等について理解し、実践してみる。	演習・グループワーク 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	(予習) 事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	90	主体性 働きかけ力 創造力 傾聴力 規律性
23	身体表現③ 群舞等について理解し、実践してみる。	演習・グループワーク 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	(予習) 事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 規律性
24	総合作品創作① ゼミ全体で創作する総合作品の構想を練り、テーマ、発表場所、観衆に伝える方策等の工程を考える。	演習・グループワーク それぞれのアイデアを確認する。自身の役割を考える。	総合作品の構想や工程を考え、自身のアイデアを発信することができる。	(予習) 事前配付のプリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	90	主体性 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	総合作品創作② ゼミ全体で創作する総 合作品の構想を練り、 テーマ、発表場所、観 衆に伝える方策等の工 程をブラッシュアップ する。	演習・グループワーク それぞれのアイデアを 確認する。自身の役割 を考える。	総合作品の構想や工程 を考え、自身のアイデ アを発信することがで きる。	(予習) 事前配付のプ リントを熟読してお く。 (復習) 振り返りシー トを基に、何が分か ったか、何ができよ うになったかを確認 する。	90	主体性 計画力 創造力 規律性
26	総合作品創作③ 自身が何で貢献でき るかを考え、ゼミ全体 で役割分担をする。	演習・グループワーク 役割分担をし、自身 のミッションを確認 する。	(予習) 事前配付のプ リントを熟読してお く。 (復習) 振り返りシー トを基に、何が分か ったか、何ができよ うになったかを確認 する。	(予習) 事前配付のプ リントを熟読してお く。 (復習) 自身の役割を 果たす努力をする。	90	主体性 計画力 創造力 傾聴力 規律性
27	総合作品創作④ 企画に沿った準備を する。	個別製作・グループ ワーク 自身のミッションを果 たす。	工程表どおり準備を進 めることができる。	(予習) 事前準備をし ておく。 (復習) 自身の役割を 果たす努力をする。振 り返りシートを基に、 何が分かったか、何が できるよようになったか を確認する。	90	主体性 創造力 傾聴力 規律性
28	総合作品創作⑤ 企画に沿った準備を する。	個別製作・グループ ワーク 自身のミッションを果 たす。	工程表どおり準備を進 めることができる。	(予習) 事前準備をし ておく。 (復習) 自身の役割を 果たす努力をする。	90	主体性 創造力 傾聴力 規律性
29	総合作品創作⑥ 企画に沿った準備を する。	個別製作・グループ ワーク 自身のミッションを果 たす。	工程表どおり準備を進 めることができる。	(予習) 事前準備をし ておく。 (復習) 自身の役割を 果たす努力をする。	90	主体性 創造力 傾聴力 規律性
30	総合作品創作⑦ 成果発表をする。	鑑賞会を実施し、自己 評価と相互評価をす る。 指導者が総評する。	成果発表に貢献でき る。	(復習) 総合作品を創 作した過程を振り返 り、1年間の成果をま とめる。何が分か ったか、何ができよ うになったかを確認 する。	90	主体性 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109H	総合ゼミナール(長谷川えり子) Seminar (Fashion Produce)	長谷川えり子		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

テーマ：「ファッションプロデュース」
 ファッションを通して、様々な視点から物事をとらえ、社会人として自立するための人間力を養っていく。ファッション業界（アパレル、ブライダル、ビューティーなど）の動向をとらえ、トレンドを分析する。また、ファッションビジネスプロジェクトとして、アクセサリショップの出店、全国販売に向けたアクセサリの商品化を行い、企画、制作、販売能力を育成する。ゼミ活動を通して、様々なファッションシーンを体得することでファッション感覚を磨き、楽しみながらファッションセンスを向上させる。また、プロジェクト活動の場面で建学の四大精神を实践し、社会人基礎力を発揮し、これまで獲得してきた知識を活用して、課題解決に結びつけ、自らの可能性を伸ばしていく。

学修内容	到達目標
① ファッション業界（アパレル、ブライダル、美容）について動向を捉え、トレンドを分析する。 ② プロジェクト①全国販売されるアクセサリの商品化を目指し、産学連携活動に取り組む。 ③ プロジェクト②学外、大学祭において、アクセサリショップを出店し、商品を企画、制作、販売する。 ④ プロジェクト③地域の方を対象にアクセサリ制作の講座を開催し、魅力を発信する。 ⑤ プロジェクト④ファッションショーにて、ゼミ活動の成果を発表する。	① ファッション業界の流通のながれやトレンド傾向を知ること で現状を捉え、自ら発信することができる。 ② これまでに獲得したスキルを活かして、市場で売れるアクセサリをデザインし企業側に提案することができる。 ③ これまでに獲得したスキルを活かして、企画力、制作、販売スキル発揮し、ショップを運営することができる。 ④ 地域の方を対象とした講座を実施し、もの作りの楽しさ、アクセサリの魅力を発信することができる。 ⑤ これまでに獲得したスキルを活かして、ファッションシーンに適したスタイルをデザイン、製作し、トータルファッション提案ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	ファッショントレンド情報を積極的にキャッチし、ファッション業界の商品のながれや動向を捉える。
	働きかけ力	
	実行力	ファッションプロジェクトをチームで協力して進め、実行することができる。
考え抜く力	課題発見力	ファッションプロジェクトを進める中で、目標を達成するための問題点を考えながら取り組む。
	計画力	ファッションプロジェクトを進める中で、達成目標に対してスケジュールを計画し、途中で点検しながら実行する。
	創造力	自分の好きなファッションだけでなく、様々なファッションスタイルを通して、新しい発想のもとアイデアを提案する。
チームで働く力	発信力	ファッショントレンドをとらえ、分析し、シーンに合わせた提案ができる。
	傾聴力	チーム活動では、周りの人の意見を十分に聞きながら行動する。
	柔軟性	チーム活動では、お互いに思いやり、意見の相違があった場合でも理解し合って進めていく。
	状況把握力	
	規律性	遅刻無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし 教員作成の資料により進める。
 参考文献：MODE et MODE

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッションコーディネート演習、ファッションアクセサリーズ、ショッププロデュース、アパレルCAD
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
普段からファッションに興味を持ち、様々なメディアを通して情報に触れよう。また、ファッション販売の現場にも出向き、トレンドを捉え、消費者の動向を観察しよう。	ゼミ活動を通して、ゼミ生相互の親睦をはかり、協調性を身につけ、お互いに成長できるように、目標に向かって努力しよう。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：ファッションプロジェクトに対して、積極的に取り組み、チーム全体で成果を上げ、社会人基礎力の能力を実践できた。ファッションに関わることで、ファッションセンスが磨かれ、様々シーンのファッション提案ができる。 S：上記に加え、チーム全体に働きかけ、自己の成長ぶりが作品に成果として表現できている。</p>	<p>B：ファッションプロジェクトを理解し、チームで協力して実施することができた。ファッションを通して、自己表現することができる。 C：上記の基準に対して、プロジェクト活動に対して前向きな努力が見られない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の進め方についてゼミ活動についての取り組み方の説明、役割分担を行う。メンバーの自己紹介を行う。	講義、演習 ゼミの概要を説明し、今後の進め方について話し合う。	ゼミの目標を理解し、ゼミの概要を捉え、役割分担することができる。	(予習) シラバスを読み、前期の内容をとらえる。 (復習) ゼミ活動での個人目標を設定する。	60	発信力 傾聴力
2	ファッション業界の概要について就職を意識して、ファッション業界(アパレル、美容等)の現状を解説する。	演習 PPによる業界の説明後、パソコンにより業界の概要、会社の実態などの情報を収集し、プリントにまとめる。	ファッション業界研究を行い、就職に活用することができる。	(予習) ファッション業界の会社を調べる。 (復習) 進路に合わせた業界の動向を調べる。	60	主体性 課題発見力
3	トレンド情報分析について今季のトレンドについて、カラー、素材、デザインの面から解説する。	演習 PPによる今季のトレンド解説後、パソコンによりデザイナーの作品情報を収集し、プリントにまとめる。課題は提出後、点検しフィードバックする。	今季のトレンドについてコレクション映像やインターネットより情報を収集することができる。	(予習) 今季のトレンドをネットで検索する。 (復習) 授業の内容をファッション雑誌で振り返りまとめる。	60	主体性 実行力
4	ファッションアクセサリー制作① 金具(ピン、カン)の種類を知り、工具による基本操作を習得し、金具を使ったアクセサリーを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	金具を使用したアクセサリーが制作できる。	(予習) アクセサリー制作用の金具の種類を調べる。 (復習) 制作した作品のコーディネートを考え着装する	60	主体性 実行力
5	ファッションアクセサリー制作② ラインストーン、パテを使ったジュエルデコレを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	ジュエルデコレ仕様のアクセサリーが制作できる。	(予習) ラインストーンアクセサリーを調べる。 (復習) 制作した作品のコーディネートを考え着装する。	60	主体性 実行力
6	ファッションアクセサリー制作③ レジンを活用したアクセサリーを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	レジンを使ったアクセサリーが制作できる。	(予習) レジン仕様のアクセサリーを調べる。 (復習) 制作した作品のコーディネートを考え、着装する。	60	主体性 実行力
7	アクセサリー産学連携企画① 全国販売を目指したアクセサリーを企画する。連携先の企業から業界の動向を学び、新しい提案を行うためにトレンドを活かしたデザインワークを行う。	演習、グループワーク 企画する作品のデザインを考え、グループ内で発表し意見交換する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリーを企画することができる。	(予習) アクセサリーの売れ筋商品を調べる。 (復習) 企画したアクセサリーの作り方を考える。	60	創造力 発信力
8	アクセサリー産学連携企画② 全国販売を目指したアクセサリーを制作する。	演習 企画する作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリーを制作することができる。	(予習) アクセサリーの制作方法を調べる。 (復習) 企画したアクセサリーを完成させる。	60	実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	アクセサリー産学連携企画③ 全国販売を目指したアクセサリーの中間発表会を行う。提案作品に対して企業側からアドバイスを受ける。	発表 企画する作品を連携先企業に対して、中間発表する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを提案することができる。	(予習) 発表練習をする。 (復習) 指摘された課題に対して、修正案を検討する。	60	実行力 課題発見力 発信力
10	ファッションビジネスプロジェクト①(アクセサリーショップ) ネックレスアイテムのデザインを考え制作する。	演習、討議(ディスカッション) 教員説明後、チーム活動で販売する商品を検討する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ネックレス)制作ができる。	(予習) ネックレスの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
11	ファッションビジネスプロジェクト②(アクセサリーショップ) イヤリングアイテムのデザインを考え制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(イヤリング)制作ができる。	(予習) イヤリングの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
12	ファッションビジネスプロジェクト③(アクセサリーショップ) ピアスアイテムのデザインを考え制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ピアス)制作ができる。	(予習) ピアスの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
13	ファッションビジネスプロジェクト④(アクセサリーショップ) ブレスレットアイテムのデザインを考え制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ブレスレット)制作ができる。	(予習) ブレスレットの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
14	ファッションビジネスプロジェクト⑤(アクセサリーショップ) ヘアアイテムのデザインを考え制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。商品は教員が点検し、フィードバックする。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ヘア用)制作ができる。	(予習) ヘアアクセサリーの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
15	アクセサリー産学連携企画④ 全国販売を目指したアクセサリーの発表会を行う。制作スキルを活用した新しい商品提案をわかりやすく伝え、発信する。	発表(プレゼンテーション) 企画内容をPPで連携先企業側にプレゼンテーションする。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを提案することができる。	(予習) 発表の練習をする (復習) 発表について、感想をまとめる	60	発信力 規律性
16・17	研修旅行企画、学外見学 学外活動を通して、ファッション現場をとらえる。	演習(学外見学) 研修旅行を実施 研修先-アパレルメーカー、化粧品メーカー、コスチュームサロン、コレクション見学	ファッション関係の研修を通して業界の現状を理解できる。	(予習) 見学先での質問を考える。 (復習) 見学先の概要と感想をプリントにまとめる。	60	実行力 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
18	大学祭出店準備① 商品企画を行う。ブランドコンセプトにそった商品をデザインし、制作する。	実習、討議（ディスカッション） 教員説明後、討議し、役割分担し、商品の制作などの出店準備を行う。	店舗ディスプレイの実際を考え、各アイテムを制作できる。	（予習）Shopを訪問し、ディスプレイ、POPを観察する。 （復習）POPの修正と制作を行う。	60	主体性 創造力
19～ 21	大学祭出店準備② 商品制作を行う。ブランドコンセプトに合わせ、習得したスキルを活かして、商品制作を行う。制作にあたり、能率的に制作でき、見映えのする商品作りを考えて実施する。	実習、グループワーク 教員説明後、チーム活動で、販売する商品を制作する。メンバーで役割分担し、チームで協力して進める。完成した商品は教員が点検し、フィードバックする。	商品として販売できるアクセサリーアイテムを制作できる。	（予習）商品の品揃えをまとめる。 （復習）アクセサリー制作と修正を行う。	60	実行力 課題発見力
22	大学祭出店準備③ 商品管理として、価格設定と値札付けを行う。価格設定は、原価計算し、適正価格を考えて設定する。	実習、グループワーク 教員説明後、チーム活動で、販売する商品の価格設定、値札付けを行う。	販売商品を制作できる 販売商品を制作し、価格設定できる。	（予習）一般小売店舗商品の価格を調べる。 （復習）販売後のアクセサリーの商品管理を行う。	60	主体性 実行力
23	ファッションショー企画 今季のトレンドを活かし、テーマ、制作作品を考える。 ・トレンド分析 ・デザインワーク	演習、討議（ディスカッション） 教員説明後、全体でテーマ、担当を話し合う。	ファッションショー実施に向けて、企画案を練り、検討できる。	（予習）コレクションを鑑賞する。 （復習）制作するデザインを考え、制作手順を計画する。	60	主体性 発信力 傾聴力
24～ 27	ファッションショーアイテム制作 各自作品制作を行う。 ・材料選定 ・裁断、印付け ・縫製 ・仕上げ ・装飾	実習、制作 発表する衣裳を制作実習する。制作途中で教員が点検（フィードバック）しながら、完成させる。	ファッションショー作品を制作できる。（衣裳、アクセサリー）	（予習）本日の作業の確認を行い、制作内容を計画する。 （復習）衣裳制作を進める。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
28	ファッションショー準備 ショーの音楽、舞台演出を検討する。作品が映えるための雰囲気作りを考え、演出効果のシミュレーションを行う。	実習、グループワーク ゼミ全体で活動し、ショー演出を行う。	ファッションショーの演出を考え、発表の準備ができる。	（予習）ショーで使用する音楽を探す （復習）コレクションを鑑賞し、フォーメンションを考え練習する。	60	実行力 創造力 発信力
29・ 30	ファッションショー作品発表会 学外プロジェクト成果発表会	実習 ファッションショー出演、および学外活動の成果発表を行う。	卒業作品発表会（ファッションショー）でオリジナル作品を発表することができる。	（予習）本番のスタイリングを考える。 （復習）ビデオにより本番を振り返る。ゼミ活動を振り返りまとめる。	60	実行力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109I	総合ゼミナール(杉浦菜穂子) Synthesis Seminar	杉浦菜穂子		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

テーマ：「ファッションクリエイティブデザインーファッションを通してできることを考えるー」
 被服製作・ファッションについての専門的な知識を修得します。専門知識を活用し、ファッションの力で出来ることを考案、地域貢献活動を実践しアパレル業界の問題解決を目指します。CO₂排出量の増加による地球温暖化が社会問題としてクローズアップされるなか、世界2位の環境汚染産業といわれるアパレル業界においてSDGsを意識した被服製作活動は必須条件です。ジェンダーフリー、ジェネレーションフリーでトレンドを捉えたデザインとはなにかを考え、健康者でも、障がいのある方でも若者でも高齢者でも、だれでも着られる、着やすい作品を創造します。人間の体は一人ひとり違います。個性を大切にファッションとは何かを考え、研究していきます。また、ファッションショーに向け「私が1番輝く服」をテーマにデザインし、エシカルを意識した製作活動を進めます。洋裁の基本はもとより、ショー作品を製作することによって、より専門的で高度な洋裁技術を体得します。ゼミ活動を通して建学の精神を実践し、社会人基礎力を身に付け、製作したショー作品を着装して発表することにより、潜在能力の開発を目指していきます。ショー作品製作では獲得した知識を活用し、デザイン画に沿った作品になるよう課題解決を行います。

学修内容	到達目標
① 被服製作の専門的知識を学び、ショー作品を製作する。 ② ファッション環境について市場調査し、分析する。 ③ ファッショントレンドを捉えてデザイン画を描き、製作する。製作したショー作品は、着装して発表する。	① 被服製作の専門的知識を学び、ショー作品を製作することができる。 ② SDGsに基づき、エシカルなファッションデザイン画を作成することができる。 ③ 製作した作品をコンテストに出品しファッションショーで発表することにより潜在能力を伸ばすことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	ファッションについて情報を積極的に収集し、様々なスタイル傾向を捉える。教員が提示する社会人基礎力を授業で意識して受講することができる。
	働きかけ力	
	実行力	自ら立てた目標達成に向けて、具体的に行動することができる。
考え抜く力	課題発見力	トレンドを分析し、着用するうえでの問題点を考えながらデザインを行うことができる。縫製方法を工夫することができる。
	計画力	
	創造力	環境に配慮し、個々に寄り添い対応したエシカルファッションを考え、新しいファッションスタイルを提案することができる。
チームで働く力	発信力	発表会では、自分の意見をわかりやすく伝えることができる。自身の作品を表現することができる。
	傾聴力	チーム活動では互いの考えをディベートし、制作や研究に活かすことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：プリント配布
 参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッション造形、やさしいソーイング、アパレルパターンメイキング、コスチュームデザイン、ファッションデザイン演習
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
ファッションを通じて社会情勢に関心を持ちましょう。ゼミ活動を通じて四大精神を実践し社会人基礎力を身に付け、1年で確かな成長を目指しましょう。洋裁の技術修得には時間がかかりますが、こつこつと努力を重ね身に付けていきましょう。	欠席せず、時間、ルール、提出物期限を厳守する。提出物に不備がないかを提出前に確認し、丁寧に仕上げること。携帯電話の電源は切り、鞆に入れておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓	自らデザインし、作品を製作・発表する。 ・オリジナリティーに溢れ、個々に合った作品かを評価する。 ・細部まで丁寧に製作できているかを評価する。 ・製作の過程で問題が発生した際に、これまでの知識を活用して縫製方法を工夫しているか評価する。 （特に優れて高い：S、優れて高い：A、完成しており問題ない：B、完成しているが着用に問題あり：C）		
			②	✓			
			③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：ファッションについての情報を積極的に捉え、デザインに活かすことができる。 実行力：ファッションと社会の動向を捉え、制作作品で表現できる。 課題発見力：目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができる。 創造力：様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できる。 発信力：発表会では自分の意見をわかりやすく伝えることができる。 傾聴力：チーム活動では、他者の意見をしっかりと聞き、制作に活かすことができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲を欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォロー課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS 下記に加えて、チーム活動において、自分の意見をしっかりと発信し、統率力を発揮することができる。作品制作では、完成度の高い構成で表現されオリジナリティーがある。 到達レベルA 作品制作に対して一生懸命に取り組み、デザイン性に優れた完成度の高い作品として仕上がっている。	到達レベルB 自分でデザインし、作品を制作することができる。 到達レベルC 上記の内容に対して、提出物の遅延・不備がある。プロジェクト活動に対して意欲的な姿勢がみられない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミ活動の内容説明やスケジュール説明を行う。 NDKフレッシュコンテストの説明、デザイン画制作。	講義と質疑応答 教員が1年間の活動内容を説明する。 デザイン画を点検し、フィードバックする。	ゼミの内容を理解し、ゼミの概要が分かる。 NDKフレッシュコンテストの傾向を掴み、テーマに沿ったデザイン画を制作できる。	(予習) シラバスを読み、ゼミの内容を捉える。出品コンテストの過去受賞作品を調べる。デザイン画下書き。 (復習) デザイン画アウトラインを完成させる。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	NDKフレッシュコンテスト デザイン画着色・バック着色	演習 教員の説明後、デザイン画制作を行う。デザイン画を点検し、フィードバックする。	デザイン画に着色することができる。バックに着色することができる。	(予習) デザイン画のアウトラインを入れる。配色を考案してくる。 (復習) NDKフレッシュコンテストの応募用紙を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力
3	コンテスト・発表作品制作 採寸し、原型を作成する。	演習 教員が原型について説明後、パターンメイキングを行う。原型を点検し、フィードバックする。	採寸をし、原型を作成できる。	(予習) ショー作品のデザインについて調べる。自身の寸法を確認する。 (復習) 原型を完成させる。	90	主体性 実行力 創造力
4	コンテスト・発表作品制作 コンテストに向けて制作する。 縫製方法を学修し、パターンメイキングする。	演習 教員がパターンのひきかたについて説明後、パターンメイキングを行う。パターンを点検し、フィードバックする。	パターンを仕上げることができる。	(予習) 自身の出来上がり寸法を確認する。 (復習) パターンの見直し、展開を行い完成させる。	90	主体性 実行力 創造力
5	コンテスト・発表作品制作 布購入準備・素材研究 コンテスト作品、発表作品の素材研究・手工程の考案を行う。	演習 教員がショー作品の素材について説明後、素材について調べ、手工程を考案し、試作する。	デザイン画に合った素材を理解し、手工程を考案することができる。	(予習) 布の使用量について調べる。 (復習) 布を購入し、地直しを行う。	90	主体性 実行力 創造力
6	コンテスト・発表作品制作 コンテスト、発表に向けて作品を製作する。 布裁断・印付けを行う。	演習 教員が布裁断方法について説明後、裁断・印付けを行う。印を点検し、フィードバックする。	布を裁断することができる。	(予習) パターンチェックをしてくる。 (復習) デイティールの縫製方法について調べてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
7	コンテスト・発表作品制作 発表に向けて作品を製作する。 仮縫いを行う。	演習 教員が仮縫い方法について説明後、仮縫いを行う。提出物を点検し、フィードバックする。	仮縫いをすることができる。	(予習) デイティールの縫製方法について調べてくる。 (復習) 仮縫いをしてくる。	90	主体性 実行力 傾聴力
8	コンテスト・発表作品制作 発表に向けて作品を製作する。 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正について説明後、各自製作を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	仮縫い試着・補正を行うことができる。	(予習) 仮縫いをしてくる。 (復習) パターンの直しをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	コンテスト・発表作品製作 発表に向けて作品を製作する。 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断について説明後、各自裁断を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	本番用布を裁断することができる。	(予習) 補正をしてくる。 (復習) 布地に合った印付けをしてくる。	90	主体性 実行力 創造力
10	コンテスト・発表作品製作に向けての基礎縫い 作品を製作するにあたり、ICTを活用し基礎縫いを行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、ICTを活用教材「GFP」を使用し、縫製を行う。クラスルーム上に提出された課題を点検し、フィードバックする。	トップスの縫製ができる。	(予習) トップスのミシン準備。 (復習) トップスの完成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
11	コンテスト・発表作品製作 発表に向けて作品を製作する。 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ボトムスの縫製ができる。	(予習) トップスの完成。 (復習) ボトムスの完成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
12	コンテスト・発表作品製作 発表に向けて作品を製作する。 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	小物を製作できる。	(予習) ボトムスの完成。 (復習) 小物の完成。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
13	学泉祭ショー作品を製作する。 グループでテーマを決定し、テーマに沿ったグループ作品デザイン画を作成する。	演習・グループワーク 教員が説明後、グループでテーマ決定。デザイン画を作成する。制作計画書を書く。提出物(D画・計画書)を点検し、フィードバックする。	グループ作品のデザイン画を考え、制作計画を立てることができる。	(予習) グループ作品デザイン画下書き。 (復習) デザイン画を完成させる。布購入。	90	主体性 実行力 創造力
14	学泉祭ショー作品を製作する。 パターンを作成する。	演習 教員が説明後、デザイン画をもとにパターンを作成する。提出物を点検し、フィードバックする。	学泉祭作品のパターンメイキングができる。	(予習) 布を購入し、必要材料を準備してくる。 (復習) パターンのカット・確認。	90	実行力 課題発見力 創造力
15	学泉祭ショー作品を製作する。 布の裁断を行う。	演習 パターンを確認し、布を裁断する。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製方法を考慮して縫い代を決め、布を裁断することができる。	(予習) パターンの確認。 (復習) 作品に改善点等がないか確認し、制作計画を立てる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
16	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 創造力
18	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 創造力
19	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 創造力
20	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。 小物を制作する。	演習 教員の説明後、トータルコーディネートを考え、小物を制作する。	作品を完成させる。発表作品をトータルコーディネートした小物を制作し、効果的な発表方法を考えることができる。	(予習) ヘッドアクセサリ・アクセサリ・シューズのデザイン収集。材料準備。 (復習) 発表作品・小物の仕上げと点検をし、不備がないかチェックする。作品に改善点があれば直しを行い、完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
21	卒業ファッションショーテーマ考案 卒業ファッションショーのテーマを考案する。	講義・グループワーク 教員が昨年の卒業ファッションショーについて説明後、各自テーマ考案。提出物(各自考案したテーマ)を点検し、フィードバックする。	卒業ファッションショーの主旨について理解し、テーマを考案することができる。	(予習) 卒業ファッションショーテーマを考えてくる。 (復習) 他者の意見を聞き、卒業ファッションショーテーマにふさわしいものを考える。卒業作品デザイン画考案。	90	主体性 実行力 創造力
22	卒業作品制作 デザイン画を作成する。 デザイン、着色し、背景、全体の仕上がり、素材を考える。	演習 教員がデザイン画について説明後、各自デザイン画の着色を行う。提出物(D画)を点検し、フィードバックする。	デザイン画に着色し、背景・全体を仕上げることができる。	(予習) 着色画材を何パターンか用意してくる。 (復習) デザイン画を着色し、完成させる。	90	主体性 実行力 創造力
23	卒業作品制作 パターンメイキング 布購入準備・素材研究 作品の素材研究・手工程の考案を行う。	演習 教員がパターンメイキング・素材について説明後、製図する。素材について調べ、手工程を考案し、試作する。	パターンメイキングができる。 デザイン画に合った素材を理解し、手工程を考案することができる。	(予習) 素材・手工程について調べる。 (復習) 布の使用量について調べる。	90	主体性 実行力 創造力
24	卒業作品製作 パターン展開、仮縫いを行う。	演習 教員がパターン展開について説明後、各自展開を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	パターンを展開することができる。仮縫い用布を裁断することができる。	(予習) 仮縫い用布を準備する。 (復習) 仮縫いをしていく。	90	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	卒業作品製作 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正について説明後、各自試着・補正を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	仮縫いの試着・補正を行うことができる。	(予習) 仮縫いをしてくる。 (復習) 布を購入し、地直しをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
26	針供養	演習 教員が針供養の意義について説明後、供養、埋針を行う。	針供養の意義について理解し、レポート作成できる。	(予習) 針供養について調べてくる。 (復習) 針供養・四大精神についてまとめ、レポートを作成。	90	主体性 実行力 創造力
27	卒業作品製作 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断方法・縫い代について説明後、各自裁断を行う。裁断された本番用布を点検し、フィードバックする。	本番用布の縫製方法を考慮し、縫い代をつけ裁断することができる。	(予習) 縫製計画を立てる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 創造力
28	卒業作品製作 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 手工程を考案し、試作してくる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 創造力
29	卒業作品製作 縫製を行う。 小物制作を行う。	演習 教員が縫製方法・小物について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。小物を制作することができる。	(予習) ヘッドアクセサリ・アクセサリ・シューズのデザイン収集。材料準備。 (復習) 発表作品・小物の仕上げと点検をし、不備がないかチェックする。作品に改善点があれば直しを行い、完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
30	作品・成果発表会 ゼミ活動のまとめ	実習 作品・成果発表会を行う。	卒業作品を発表し、ゼミ活動の総まとめをすることができる。	(予習) 卒業作品を発表できるように、トータルコーディネートし準備する。 (復習) 発表の反省とゼミ活動を振り返り、まとめる。	90	実行力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109J	総合ゼミナール(秦真人) Synthetic Seminar	秦真人		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

「レクリエーションとスポーツ文化」についてというテーマで、3つの課題を一年間かけて追究する。現在、日本のスポーツ文化は競技スポーツと健康スポーツ、観るスペクテイター・スポーツ、スポーツボランティアなど支えるスポーツといった4つのとらえ方ができる。レクリエーションの中にもスポーツ的要素をもつ活動があり、それらは健康スポーツと重なるところが多い。このゼミでは、総合的なスポーツ文化の理解から、身近なレクリエーションの話題を取り上げて体験的に学修する。そして、その中で建学の4大精神と社会人基礎力、pisa型学力の修得をめざしていく。

学修内容	到達目標
① 日常的に生活を豊かにするスポーツ・レクリエーション(以下、スポ・レク)が習慣化されるようにする。 ② スポ・レクを通して、集団における社会性を身につける。 ③ スポ・レクの基本的な技能を身につけ、基礎指導ができるようにする。 ④ スポ・レク種目の調査・研究により、スポーツ文化やレクに対する理解を深める。 ⑤ スポ・レク活動を支える担い手となるための学びを実践する。	① 日常生活の中でスポ・レクが習慣的に実践できる。 ② スポーツ・レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる。 ③ 基本的な技能を身につけ、基礎的スポ・レク指導ができる。 ④ 調査・研究により、スポーツ文化やレクに対する理解を深めることができる。 ⑤ スポ・レク活動を支える担い手の一人となることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	スキル練習や試合、その他行事において自分の役割を積極的に果たすことができる。
	働きかけ力	チームとして良好な活動ができるように、声かけをしたり提案をすることができる。
	実行力	個人スキルの向上や目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成することができる。
考え抜く力	課題発見力	自分のスキルやチームの弱点を分析し、課題を見つけて対処することができる。
	計画力	チーム力の向上のために、段階的な練習計画を立てることができる。
	創造力	スポ・レク活動の中で、新たな価値観を創り出すことができる。
チームで働く力	発信力	スポ・レク活動の中で、自分の考えを提案することができる。
	傾聴力	スポ・レク活動の中で、他人の考えをしっかりと把握することができる。
	柔軟性	スポ・レク活動の中で、意見の相違があっても、柔軟に対処することができる。
	状況把握力	スポ・レク活動の中で、どういう場面であるかを常に把握して対処することができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	スポ・レク活動の中で、ストレスを感じても、動揺せずに冷静に対処することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト・参考文献：必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。テーマに沿って、そのつど参考文献等を提示する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「レクリエーション実習」、「アウトドア演習」、「健康管理論」、「パーソナルスポーツ演習」、「チームスポーツ演習」、「生涯スポーツ」など
資格との関連：(レクリエーションインストラクター、スポーツインストラクター)

学修上の助言

様々な写真や映像資料などを利用して、視覚による理解を深めるとともに、実体験をすることによってさらにレクリエーションとスポーツ文化についての理解を深める。前期はレクリエーション的スポーツの実践体験を中心に、後期は興味関心のあるスポーツやレクリエーションに関する資料・文献調査を中心に学修する。

受講生とのルール

- ・ 必要に応じて更衣をし、室内シューズとタオルを準備する。
- ・ 携帯電話は必要ないので持ち込まない。
- ・ 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。
- ・ 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		60	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業で学んだ様々な知識を体系的に理解し、自分に合った練習方法を見つけて実践し、著しく個人スキルとチームスキルの向上が図れる場合A（優）。</p> <p>さらに、将来的に計画的に実践させることができると思われ、特に指導的立場にいると思われたらS（秀）となる。</p>	<p>授業で学んだ様々な知識を理解し、それを活かした練習計画が実践できると共に個人スキルの向上が図れた場合B（良）。</p> <p>授業に参加し、個人スキルの向上が図れなくても、主体的に行動することができればC（可）である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	一年間のゼミ活動全体の内容を理解する。	講義 教員からの説明と全員で計画案を確認する。	このゼミではどういう活動して、どういったことを身につけていくことができるかを理解することができる。	(予習) スポーツ、レクリエーションとは何かの意味を予習する。 (復習) 科目内容を振り返り、自分の担当種目の計画を練る。	90	課題発見力 傾聴力
2	スポーツ文化とレクリエーションの意味を理解する。	講義 (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	社会の中でのスポーツの位置づけとレクリエーションの意味をその変遷などから広く理解することができる。	(予習) スポーツ文化について予習する。 (復習) スポーツとは何か復習する。	90	傾聴力
3	スポーツ・レクリエーション運営実践に向けて計画する。	講義・演習 教員からの説明と全員で計画案を作る。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	グループ分けにより、次回からの運営実践に向けて企画・準備をすることができる。	(予習) 何の店か予習として企画する。 (復習) 模擬店の企画運営計画について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力
4	スポーツ・レクリエーションの運営を実践①をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
5	スポーツ・レクリエーションの運営を実践②をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
6	スポーツ・レクリエーションの運営を実践③をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
7	スポーツ・レクリエーションの運営を実践④をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力
8	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑤をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑥をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
10	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑦をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
11	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑧をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
12	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑨をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
13	スペクテイター・スポーツに対する理解をする。	演習 教員による説明の後、実際に学外で演習する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	学外競技スポーツを観戦し、レクリエーションとしての見るスポーツに対する理解を深めることができる。	(予習) スペクテイタースポーツとは何かについて調べる。 (復習) 希望種目についての調査と記録を振り返りまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
14	アウトドア体験活動を理解し企画運営をする。 グループ内で、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 教員による説明の後、実際に学内外で演習する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	B B Qや野外企画を運営し、レクリエーションとしてのアウトドア活動について実践的に学ぶことができる。	(予習) 野外調理についての仕方を事前学習する。 (復習) B B Qや野外企画を記録しまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
15	前期の活動のまとめをする。	演習 教員からの説明と全員での反省会をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	前期のゼミ活動を振り返り、総括して反省することができる。	(予習・復習) 前半期の記録から、振り返りをし、活動内容のまとめのレポートを作成する。	90	課題発見力 計画力 発信力 傾聴力
16	後期ゼミ活動について理解する。	講義 教員からの説明と全員で後期の計画案を確認する。	後半のゼミでは、どういう活動して、どういったことを身につけていくことができるかを理解することができる。	(予習) 後期活動の内容をシラバスから把握する。 (復習) 計画を練り直しまとめる。	90	課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	レクリエーションとしての「祭」を理解する。	講義・演習 教員からの説明と全員で計画案を作る。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	社会の中でのスポーツの位置づけとレクリエーションの意味をその変遷などから広く理解することができる。	(予習) スポーツ文化の中の祭を考えてみる。 (復習) 祭をレクリエーションとしてはとらえてまとめる。	90	傾聴力
18	「学泉祭」運営実践に向けて計画を立てる。	講義・演習 教員からの説明と全員で計画案を作る。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	グループ分けにより、次回からの運営実践に向けて企画・準備をすることができる。	(予習) どんな店をが 出店可能か調べておく。 (復習) 模擬店の企画 運営計画についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力
19	「学泉祭」運営実践の反省をする。	演習 教員からの説明と全員で反省会をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	学泉祭の模擬店の運営実践した振り返りをして、その実践の反省ができ記録することができる。	(予習) 各自反省点を まとめてくる。 (復習) 各自の反省を 踏まえ模擬店の企画運 営の記録を作りまとめ る。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
20	レクリエーションとしての「旅」を理解し計画を立てる。	演習 各グループ企画により 計画・立案をしてみる。 (復習内容の質問 に対して口答でフィー ドバック)	「旅」のレクリエーションとしての意味を広く理解し、ゼミ旅行に向けての意識を確認し計画することができる。	(予習) どこが実際に 行くことが可能か調べ てくる。 (復習) 各自の提案を まとめて方向性を絞 る。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
21	「ゼミ旅行」の運営・実践の反省をする。	演習 教員からの説明と全員で反省会をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	ゼミ旅行の営実践した振り返りをして、その実践の反省ができ記録することができる。	(予習) 各自反省点を まとめてくる。 (復習) ゼミ旅行の企 画運営の記録を作りま とめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
22	まちづくりプロジェクトを実施する。① グループ内で、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画により 計画・立案をしてみる。 (復習内容の質問 に対して口答でフィー ドバック)	まちづくりプロジェクトに積極的に参加することができる。	(予習) プロジェクト で何をするかについて 調べてくる。 (復習) 実施内容を振 り返り反省してまとめ る。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
23	まちづくりプロジェクトを実施する。② グループ内で、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画により 計画・立案をしてみる。 (復習内容の質問 に対して口答でフィー ドバック)	まちづくりプロジェクトに積極的に参加することができる。	(予習) プロジェクト で何をするかについて 調べてくる。 (復習) 実施内容を振 り返り反省してまとめ る。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
24	最終レポート作成に向けての手順を理解する。	演習 教員からの説明と計画案を作成(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの書き方、資料の収集・整理の仕方などについての説明とテーマ設定について理解ができる。	(予習) 各希望種目の 調査をする。 (復習) 各自の予備調 査を確認してまとめ る。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	資料収集と相談を行う。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	図書館や情報処理室を利用し、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習) 各希望種目の調査により1つのテーマに絞む。 (復習) 調査内容を確認してまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
26	各自レポート作成と発表に向けての資料を作成する。① 獲得した知識により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	情報処理室を利用し、独自の考えを交えながら、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
27	各自レポート作成と発表に向けての資料を作成する。② 獲得した知識により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	情報処理室を利用し、独自の考えを交えながら、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
28	レポート課題の第一次提出と発表内容の確認をする。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの第一次提出をすることができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
29	レポート課題の修正と最終提出をするとともに発表の最終確認をする。 獲得した知識により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの訂正・修正を行い、最終提出ができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
30	ゼミ活動のまとめをする。 獲得した知識により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 ゼミ発表会で報告する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	完成したゼミナール報告をもとに、発表し総まとめをすることができる。	(予習) 報告資料・原稿の準備をする。 (復習) 発表の反省と振り返りをしてまとめる。	90	課題発見力 計画力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力